

帯広市立小中学校 適正規模の確保等に関する計画

平成30年4月

帯広市教育委員会

目 次

1	計画策定の趣旨等	1
2	計画期間	3
3	児童生徒数等の将来推計	
(1)	児童生徒数等の推計方法	3
(2)	今後の児童生徒数の推移	4
(3)	学校別児童生徒数及び学級数の将来推計	5
4	対象校選定の考え方	
(1)	学校の配置状況	7
(2)	対象校選定の考え方	8
5	適正規模の確保等に関する取り組みの進め方	12
6	適正規模の確保等に関する取り組みにあたっての留意事項	
(1)	地域協議に向けた基本姿勢	14
(2)	より良い教育環境の整備	14
(3)	旧学校施設の活用方法	15
資料編		
資料1	学校別児童生徒数及び学校規模（学級数）の将来推計	18
資料2	地区（地域）ごとのカルテ	23
1	東地区	
2	鉄南地区	
3	川北地区	
4	西地区	
5	西帯広地区	
6	南地区	
7	農村地域	
資料3	意見交換会等の開催状況と主な意見	62

1 計画策定の趣旨等

背 景

少子化の進行による将来の児童生徒数の減少がもたらす影響が懸念される中、本市教育委員会では、平成28年9月に帯広市立小中学校適正規模・適正配置市民検討委員会から受けた『帯広市立小中学校の学校規模等に関する報告書』の内容を最大限に尊重しつつ、子どもたち一人ひとりの資質や能力を十分に伸ばしていくことのできるより良い教育環境を目指し、平成29年2月に『帯広市立小中学校適正規模の確保等に関する基本方針』（以下「基本方針」という。）を策定しました。

基本方針は、小中学校の適正規模の確保等に関する取り組みの基本的な考え方を示したものであり、今後この基本方針に基づいて具体的な取り組みを推進していく必要があります。

目指す教育の姿

人口減少がこれまで以上に加速することが見込まれる状況下にあって、将来にわたって発展し持続する社会を実現するためには、一人ひとりが持てる能力を最大限に発揮し、意欲ある全ての人々が社会参画できる環境を構築する必要があります。

このような中、義務教育においては、平成28年4月に小学校と中学校の9年間を通じて系統的な教育を行う小中一貫教育制度が導入されたほか、次期学習指導要領では、これまで教科外の活動であった道徳が、いじめなどの現実の問題やよりよく生きることなどについて児童生徒が自ら「考え、議論する」ことを目指し、教育課程上の「特別の教科」として実施されるなど、学校教育制度や指導内容の改善が進められています。

本市教育委員会としては、こうした国の動向等も踏まえ、帯広市教育基本計画の基本理念である「ふるさとの風土に学び 人がきらめき 人がつながる おびひろの教育」を実現するため、「次代を担う人づくり」「ともに学びきずなを育む地域づくり」「基本目標を実現するための基盤づくり」の三つの柱により、それぞれの施策を進めています。

特に、「基本目標を実現するための基盤づくり」においては、中学校区をひとつの家族になぞらえ、幼稚園・保育所・小中学校の連携や、学校が家庭や地域と連携を進める「帯広市エリア・ファミリー構想」により、地域ぐるみで子どもや学校を応援する取り組みの充実を図ってきており、加えて義務教育9年間を見通した児童生徒の学びをさらに深めるため、小中一貫教育についての検討も始めています。

こうしたことを踏まえて、今後も学校のより良い教育環境を目指し、地域全体で子どもたちの成長を支える考え方を保護者や地域住民と共有し、相互に協力しながら、新しい時代を切り拓く人づくり・地域づくりをはかるため、本計画に基づきより良い教育環境の整備を進めてまいります。

本計画の位置付け

本計画は、基本方針に基づいて適正規模の確保等に関する取り組みの進め方を示すものです。なお、個別の校区に関わる具体的な取組内容については、保護者、地域住民、学校関係者などで構成する地域検討委員会からの意見等をもとに別途策定する実施計画に基づいて進めます。

2 計画期間

本計画の期間は、平成30年度から平成39年度までの10年間とします。

計画期間を前期計画期間（平成30年度～平成34年度）と後期計画期間（平成35年度～平成39年度）に区分した上で、前期計画期間の取り組みについて示すものとします。

後期計画期間については、平成34年度の児童生徒数及び学級数の推計を踏まえて本計画の中間見直しを行った上で、取り組みを示します。

なお、教育制度の改正や社会情勢の変化、児童生徒数の推計に大きな変動があった場合など、計画に影響を与える変化が生じた場合は、必要に応じて見直しを行います。

3 児童生徒数等の将来推計

本計画において、適正規模の確保等を検討するための基礎資料として、平成30年度から平成39年度までの10年間の小中学校の児童生徒数及び学級数を、下記の条件及び方法により推計しました。

（1）児童生徒数等の推計方法

本計画の児童生徒数の推計にあたっては、以下の条件の下、「コーホート変化率法」(※)を用いて推計を行いました。

農村地域については、コーホート変化率法を用いず、5月1日現在に各小学校に就学している児童生徒の人数と、同じく5月1日現在で住民登録されている未就学児が次年度以降もそのままその校区で新学年に進む単純進行による推計とし、また、新生児は、推計方法に関わらず年齢別出生率をその校区に居住している15歳から49歳までの年齢別の女性の人口ごとに乗じて合算し推計しました。なお、川西小・川西中学校区は、大規模な宅地を開発中であることからコーホート変化率法と単純進行による推計を併用して算出しています。

※コーホート変化率法

…基準となる年における年齢別実績人口をもとに、その基準年から一定期間の年齢別の人口動態を「変化率」として求め、それに基づき将来人口を推計する方法であり、比較的近い将来人口の推計に用いられるもの。

<推計方法の考え方>

- ・平成29年5月1日現在の学校基本調査による児童生徒数を基礎として算出。
- ・コーホート変化率法では、平成26年度から平成28年度までの学校区ごとの住民基本台帳人口の1歳刻みの変化率を使用して算出。
- ・推計期間中の出生数については、推計方法に関わらず、帯広保健所が直近で公表している本市の15歳から49歳までの女性の年齢別の出生率とそれぞれに該当する年齢別の女性の人口を乗じて推計値を算出。
- ・清流地区などの大規模な宅地開発に伴う児童生徒数の増加を加味して算出。

<特別支援学級に在籍する児童生徒数>

- ・平成29年5月1日時点で特別支援学級に在籍している児童生徒は、単純進行で特別支援学級に在籍するものとして算出。
- ・小学校の新入生は、本市全体の児童生徒数に占める特別支援学級に在籍する平成29年5月1日の児童数の割合を乗じて算出。

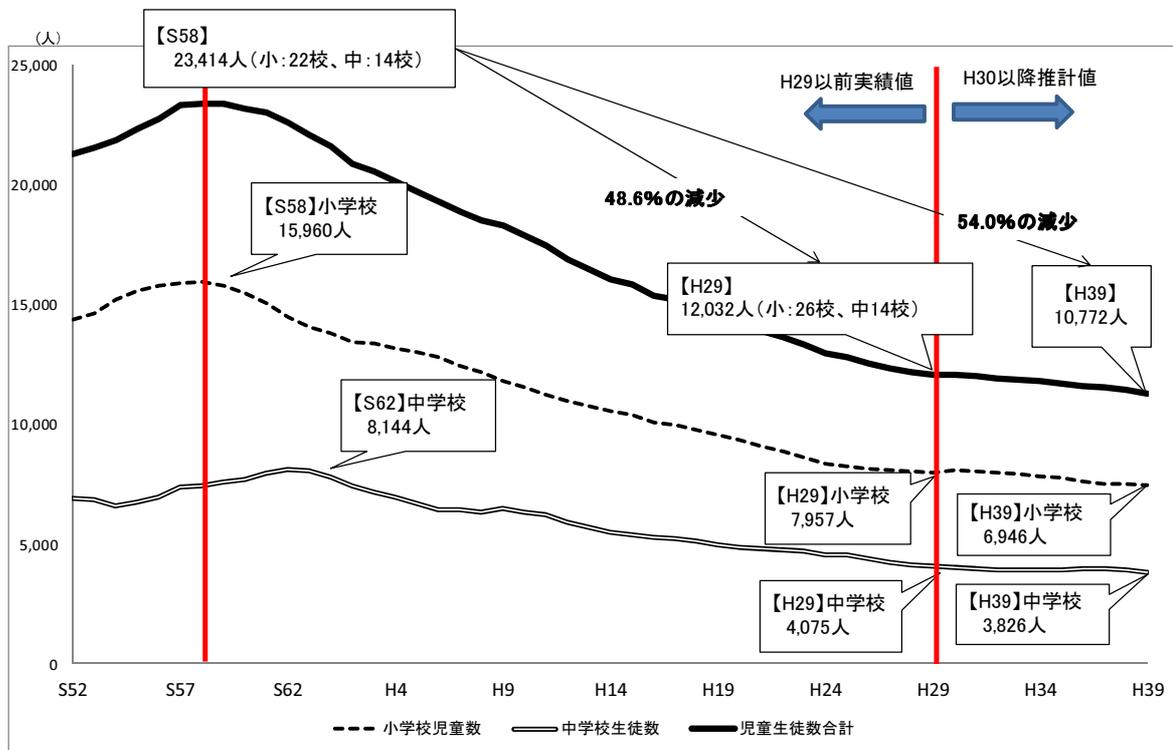
<学級編制>

- ・通常学級1学級あたりの児童生徒数は、現行の北海道教育委員会の義務教育諸学校学級編制基準規則で定める人数（40人（小学校第1学年は35人）及び少人数学級実践研究事業による人数（小学校第2学年は35人、中学校第1学年は2学級以上で1学級あたり35人）に基づき算出。
- ・複式学級は、小学校において連続する二つの学年で16人（第1学年を含む場合は8人）以下の場合及び中学校において連続する二つの学年で8人以下の場合は、複式学級として算出。
- ・特別支援学級は、障害の種別ごとに8人編制で算出。

(2) 今後の児童生徒数の推移

今回、推計を行った期間の最終年である平成39年度には、平成29年度からの11年間で、小学校児童数で1,011人（△12.7%）、中学校生徒数で249人（△6.1%）の減少が見込まれます。

◆児童生徒数の推移及び将来推計



※各年度の5月1日現在の児童生徒数により作成し、平成30年度以降については推計値で作成した。

(3) 学校別児童生徒数及び学級数の将来推計

各小中学校の計画期間中の児童生徒数等の推計は、以下のとおりです。全体的に学校の小規模化が進んでいくものと見込まれます。

【小学校】

区分	平成29年度（実績値）				平成30年度（推計値）				平成34年度（推計値）				平成39年度（推計値）			
	児童数	学級数	うち通常学級数	うち特別支援学級数												
帯広小	183	12	7	5	183	11	7	4	175	9	6	3	158	8	6	2
西小	231	12	9	3	229	11	8	3	173	8	6	2	159	8	6	2
柏小	419	19	13	6	408	18	13	5	407	16	12	4	399	17	12	5
明星小	468	19	14	5	480	18	13	5	413	17	13	4	380	16	12	4
緑丘小	499	21	15	6	507	22	16	6	501	21	15	6	448	17	12	5
北栄小	328	15	11	4	343	15	11	4	372	17	12	5	303	15	12	3
光南小	346	17	12	5	366	18	12	6	388	17	12	5	326	15	12	3
東小	197	10	7	3	203	10	7	3	175	9	6	3	155	8	6	2
啓西小	396	15	12	3	405	16	13	3	362	15	12	3	280	14	11	3
稲田小	558	23	18	5	540	21	17	4	615	25	19	6	661	26	19	7
豊成小	732	28	21	7	746	28	21	7	757	29	21	8	519	20	15	5
大空小	319	16	12	4	323	16	12	4	273	13	10	3	223	9	6	3
栄小	424	18	13	5	443	18	12	6	399	16	12	4	303	15	12	3
若葉小	443	18	14	4	466	18	14	4	469	18	13	5	446	17	12	5
広陽小	353	17	12	5	370	17	12	5	372	16	12	4	400	16	12	4
花園小	195	10	6	4	210	11	7	4	229	11	8	3	233	10	7	3
啓北小	379	15	12	3	381	15	12	3	341	16	12	4	269	13	10	3
開西小	243	13	9	4	257	12	8	4	244	11	8	3	228	9	6	3
明和小	366	19	12	7	344	18	12	6	270	13	10	3	215	9	6	3
森の里小	260	12	9	3	263	13	10	3	262	13	10	3	243	13	10	3
つじが丘小	231	10	7	3	220	10	7	3	226	11	8	3	271	14	11	3
川西小	145	8	6	2	154	8	6	2	206	9	6	3	170	8	6	2
清川小	71	8	6	2	70	7	6	1	50	6	5	1	30	3	3	0
広野小	38	6	4	2	34	5	3	2	22	3	3	0	25	3	3	0
大正小	106	8	6	2	113	8	6	2	118	8	6	2	83	8	6	2
愛国小	27	3	3	0	25	3	3	0	22	3	3	0	19	3	3	0
計	7,957	372	270	102	8,083	367	268	99	7,841	350	260	90	6,946	314	236	78

区分	平成29年度（実績値）		平成30年度（推計値）		平成34年度（推計値）		平成39年度（推計値）		
	市街地校	農村地域校	市街地校	農村地域校	市街地校	農村地域校	市街地校	農村地域校	
通常学級	1～5学級	0	2	0	2	0	3	0	3
	6～11学級	8	3	8	3	9	2	11	2
	12～18学級	12	0	12	0	10	0	9	0
	19～24学級	1	0	1	0	2	0	1	0

【中学校】

区分	平成29年度（実績値）				平成30年度（推計値）				平成34年度（推計値）				平成39年度（推計値）			
	生徒数	学級数	うち通常学級数	うち特別支援学級数	生徒数	学級数	うち通常学級数	うち特別支援学級数	生徒数	学級数	うち通常学級数	うち特別支援学級数	生徒数	学級数	うち通常学級数	うち特別支援学級数
第一中	470	17	13	4	483	17	13	4	494	18	13	5	456	17	12	5
第二中	294	13	9	4	270	12	8	4	225	9	7	2	189	8	6	2
第四中	321	14	10	4	302	13	9	4	362	13	10	3	337	12	9	3
第五中	348	15	10	5	349	14	9	5	367	13	10	3	370	13	10	3
第八中	413	18	12	6	421	18	13	5	390	14	10	4	361	14	11	3
大空中	185	8	6	2	162	8	6	2	142	7	5	2	127	7	5	2
南町中	626	22	17	5	668	23	18	5	630	22	17	5	652	24	18	6
西陵中	416	15	12	3	376	14	11	3	395	16	12	4	376	14	11	3
緑園中	317	13	9	4	309	13	9	4	254	11	8	3	259	11	8	3
翔陽中	495	19	14	5	478	17	13	4	479	18	13	5	473	18	13	5
川西中	75	5	3	2	77	5	3	2	75	5	3	2	113	5	3	2
清川中	22	5	3	2	25	5	3	2	37	4	3	1	21	3	3	0
八千代中	14	4 (3)	3 (2)	1	15	3	2	1	25	3	2	1	12	2	2	0
第七中	79	5	3	2	76	5	3	2	70	5	3	2	80	5	3	2
計	4,075	173 (172)	124 (123)	49	4,011	167	120	47	3,945	158	116	42	3,826	153	114	39

※八千代中に係る平成29年度（実績値）の学級数欄中の（ ）書きは、北海道教育委員会が定めた義務教育諸学校学級編制基準の学級数を表示。

区分	平成29年度（実績値）		平成30年度（推計値）		平成34年度（推計値）		平成39年度（推計値）	
	市街地校	農村地域校	市街地校	農村地域校	市街地校	農村地域校	市街地校	農村地域校
通常学級	1～2学級	0	1	0	1	0	1	0
	3～5学級	0	3	0	3	1	3	1
	6～8学級	1	0	2	0	2	0	2
	9～11学級	4	0	4	0	3	0	4
	12～18学級	5	0	4	0	4	0	3

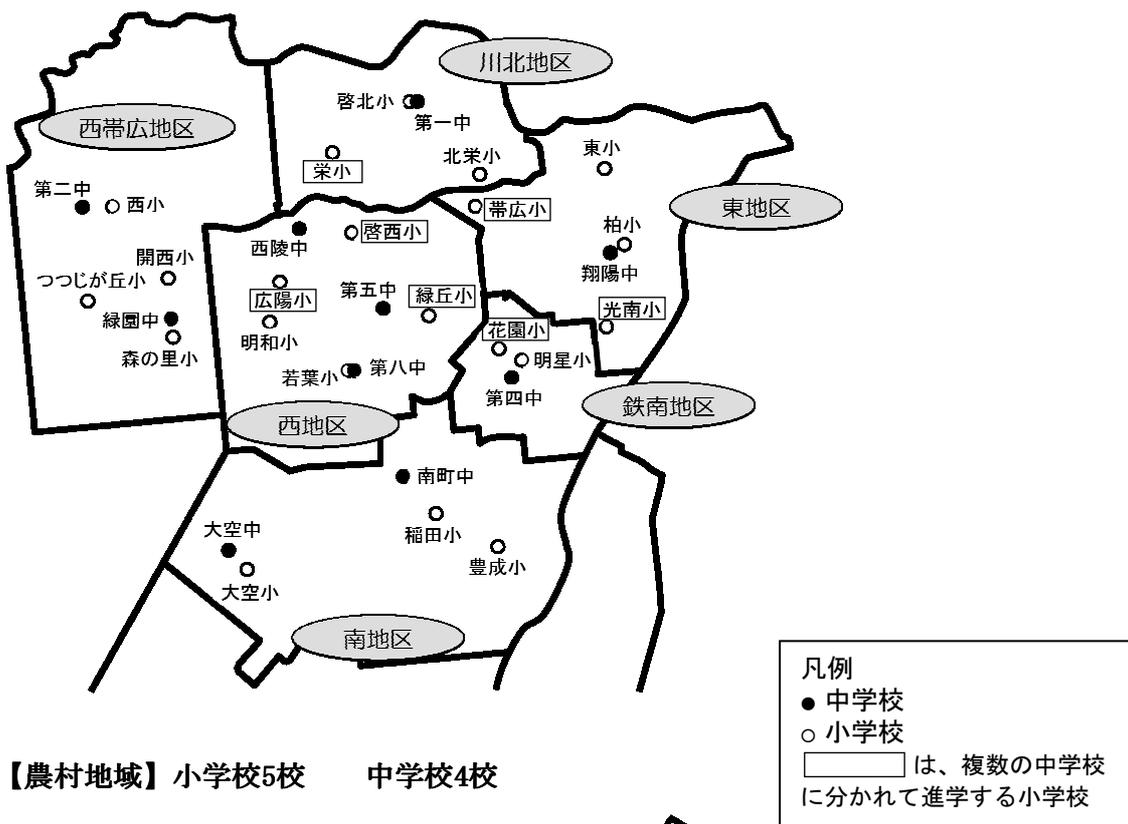
区分	平成29年度（実績値）				平成30年度（推計値）				平成34年度（推計値）				平成39年度（推計値）			
	児童生徒数	学級数	うち通常学級数	うち特別支援学級数	児童生徒数	学級数	うち通常学級数	うち特別支援学級数	児童生徒数	学級数	うち通常学級数	うち特別支援学級数	児童生徒数	学級数	うち通常学級数	うち特別支援学級数
小中学校合計	12,032	545 (544)	394 (393)	151	12,094	534	388	146	11,786	508	376	132	10,772	467	350	117

4 対象校選定の考え方

(1) 学校の配置状況

市内の小中学校は、現在小学校26校、中学校14校あり、その配置は下図のとおりです。
 (地区の境界線は、地区に属する中学校の通学区域を合わせたものです。)

【市街地】 小学校21校 中学校10校



【農村地域】 小学校5校 中学校4校



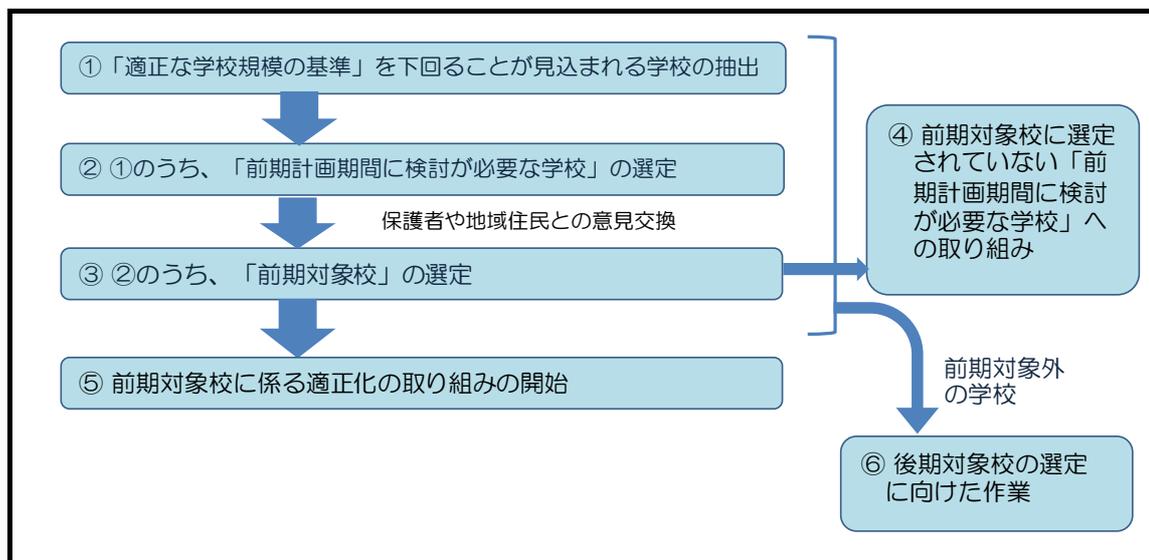
農村地域では小学校と中学校の通学区域が一致していますが、市街地では、複数の中学校に分かれて進学する小学校が7校あります。

(2) 対象校選定の考え方

小規模校は、一人ひとりに目が届き、きめ細かな指導を行いやすいなどのメリットがある一方で、学校規模に起因する人間関係の固定化や集団活動の制約などのデメリットがあります。それらのデメリットを緩和するため、学校における様々な教育方法の工夫や地域による支援の取り組みが行われています。

そうした状況を考慮して、学校の適正規模の確保等に関する取り組みは、基本方針で定めた「適正な学校規模の基準」を今後も下回ることが見込まれる小規模校について、単に児童生徒数だけを根拠に全ての学校を一律に進めるのではなく、優先度を踏まえた上で計画的に進めるために、教育環境に与える影響や近隣校の状況、保護者や地域住民の意見等を考慮し、早期に取り組むべき学校の選定を行うものです。

よって、適正規模の確保等に関する取り組みは、基本的に次の手順により対象校を選定した上で実施します。



① 「適正な学校規模の基準」を下回ることが見込まれる学校の抽出

「3（3）学校別児童生徒数及び学級数の将来推計」で示した児童生徒数等の推計値と、基本方針で定めた下欄の「適正な学校規模の基準」（以下「基準」という。）を照らし合わせ、計画期間内で基準を下回ることが見込まれる全ての学校を抽出します。

◆適正な学校規模の基準

小学校	通常学級12学級～24学級に、特別支援学級を加えた学級数
中学校	通常学級 9学級～18学級に、特別支援学級を加えた学級数
農村地域の 小中学校	通常学級1学年1学級以上に、特別支援学級を加えた学級数

今回の推計において、上記基準を下回ることが見込まれる学校は次のとおりです。

小学校	帯広小、西小、東小、啓西小、大空小、花園小、啓北小、開西小、明和小、森の里小、つつじが丘小
中学校	第二中、大空中、緑園中
農村地域の 小中学校	清川小、広野小、愛國小、八千代中

◆各学校の通常学級数の推計と基準を下回ることが見込まれる学校

学校名	平成29年度 (実績値)	平成30年度 (推計値)	平成34年度 (推計値)	平成39年度 (推計値)	平成39年度 において基 準を下回る ことが見込 まれる学校	
市街地	帯広小	7	7	6	6	○
	西小	9	8	6	6	○
	柏小	13	13	12	12	
	明星小	14	13	13	12	
	緑丘小	15	16	15	12	
	北栄小	11	11	12	12	
	光南小	12	12	12	12	
	東小	7	7	6	6	○
	啓西小	12	13	12	11	○
	稲田小	18	17	19	19	
	豊成小	21	21	21	15	
	大空小	12	12	10	6	○
	栄小	13	12	12	12	
	若葉小	14	14	13	12	
	広陽小	12	12	12	12	
	花園小	6	7	8	7	○
	啓北小	12	12	12	10	○
	開西小	9	8	8	6	○
明和小	12	12	10	6	○	
森の里小	9	10	10	10	○	
つつじが丘小	7	7	8	11	○	
農村地域	川西小	6	6	6	6	
	清川小	6	6	5	3	○
	広野小	4	3	3	3	○
	大正小	6	6	6	6	
	愛國小	3	3	3	3	○
市街地	第一中	13	13	13	12	
	第二中	9	8	7	6	○
	第四中	10	9	10	9	
	第五中	10	9	10	10	
	第八中	12	13	10	11	
	大空中	6	6	5	5	○
	南町中	17	18	17	18	
	西陵中	12	11	12	11	
	緑園中	9	9	8	8	○
翔陽中	14	13	13	13		
農村地域	川西中	3	3	3	3	
	清川中	3	3	3	3	
	八千代中	3(2)	2	2	2	○
	第七中	3	3	3	3	

※八千代中に係る平成29年度（実績値）の学級数欄中の（ ）書きは、北海道教育委員会が定めた義務教育が項学級編制基準の学級数を表示。

②「前期計画期間に検討が必要な学校」の選定

児童生徒の減少、学校の小規模化が進む中で、できる限り小規模校、大規模校の両方のメリットが生かされるような学校規模とすることが、より良い教育環境の構築につながることから、基準を設定しました。

①で抽出した基準を下回ることが見込まれる学校において、一般的には学校規模が小さくなるほど、人間関係の固定化、運動会や部活動など学校行事や集団活動の制約、さらには教員配置数の減少など、小規模校のデメリットがより一層顕著になるものと考えられます。

このため、前期計画期間終了年度である平成34年度時点で、全ての学年でクラス替ができない通常学級6学級以下の小学校及びクラス替ができない学年が生じる通常学級6学級未満の中学校であり、その後も同じ傾向で推移する学校を「前期計画期間に検討が必要な学校」とします。

また、農村地域では、1学年1学級を下回ることが見込まれる複式学級となる見込みの小中学校を「前期計画期間に検討が必要な学校」とします。

小学校	帯広小、西小、東小、清川小、広野小、愛国小
中学校	大空中、八千代中

③「前期対象校」の選定

学校は、児童生徒の教育の場であるとともに、地域活動、防災、スポーツ・文化の活動の場など地域コミュニティに関わる役割も併せて有しています。そのため、「前期対象校」の選定にあたっては、保護者はもとより地域住民と課題認識を共有し、取り組みへの理解を得る必要があることから、②で選定した「前期計画期間に検討が必要な学校」を対象とした保護者や地域住民との意見交換会を実施しました。

意見交換会では、一定規模の集団の中で学ぶことの必要性について理解を示す一方で、学校を存続して小規模校のメリットを活かした教育を行なうべきとの意見も多く寄せられ、これらの意見や学校を取り巻く教育環境などを十分加味し検討した結果、教育委員会は、前期計画期間に具体的な取り組みを進める「前期対象校」を次のとおり選定することとします。

前期対象校	大空中学校
選定理由	・大空中学校は、前期計画期間中に1学級となる学年が生じるなど、市街地で最も小規模化が見込まれる中学校であり、集団活動や学校行

事への影響、教職員の減少により学校運営上の課題などが懸念されること。

・大空中学校区の意見交換会では、学校の小規模化の進行に対する課題認識が強く、具体的な検討を求める意見が多かったこと。

④ 「前期対象校」に選定されていない「前期計画期間に検討が必要な学校」への取り組み

対象校以外の学校についても、児童生徒数の減少が進むと見込まれるため、近隣校との交流などを通じて、児童生徒がより多くの仲間との学び合い等を経験するなど、学校の小規模化による影響の緩和に努めるとともに、今後の取り組みの推進に向け、保護者や地域住民への情報提供や意見交換などを行います。

⑤ 「前期対象校」に係る適正化の取り組みの開始

前期対象校について、適正規模の確保等に関する取り組みに向けた具体的な取り組みを進めます（進め方については、「5 適正規模の確保等に関する取り組みの進め方」で述べます。）。

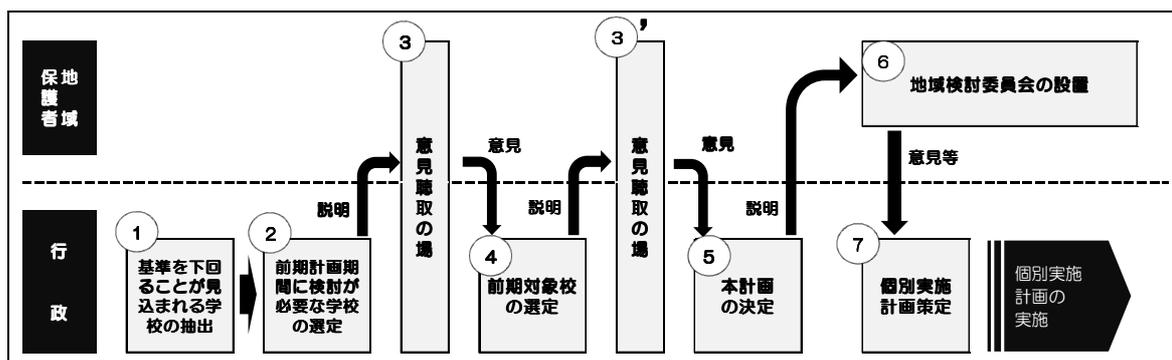
⑥ 「後期対象校」の選定に向けた作業

毎年度、児童生徒数及び学級数の推計を行い、推計結果を市民へ情報提供するとともに、課題認識の共有化を図ります。

後期計画期間の取り組みを検討するにあたり、平成34年度の児童生徒数及び学級数の推計をもとに①から⑤と同じ工程を経て、「後期対象校」を選定し、適正規模の確保等に関する取り組みを進めます。

5 適正規模の確保等に関する取り組みの進め方

「4 対象校選定の考え方」の中で選定した「前期対象校」について、適正規模の確保等に関する取り組みを進めるため、次のような工程で取り組みを進めます。なお、ここでは、「前期対象校」選定までの取り組みとその後の取り組みまでの全ての工程を記述しています。



①基準を下回ることが見込まれる学校の抽出

計画期間の終了年度の平成39年度に基準を下回ることが見込まれる全ての学校を抽出します。

②「前期計画期間に検討が必要な学校」の選定

基準を下回ることが見込まれる学校のうち、前期計画期間終了の平成34年度を見据えて、将来的にも全学年ともクラス替ができない通常学級6学級以下の小学校及びクラス替ができない学年が生じる通常学級6学級未満の中学校であり、その後も同じ傾向で推移する学校を「前期計画期間に検討が必要な学校」として選定します。

③意見聴取の場の設置

「前期計画期間に検討が必要な学校」として選定された学校に通う児童生徒の保護者や地域住民からの意見聴取を実施するための場を設けます。今後、適正規模の確保等に関する取り組みの作業工程における節目で設置するものとします。

④「前期対象校」の選定

「前期計画期間に検討が必要な学校」のうち、今後の児童生徒数の推移、地理的条件、近隣の小中学校の状況、通学の負担等のほか、③における保護者や地域住民の意見についても勘案した上で、早期に取り組みが必要な学校について検討し、前期計画期間に具体的

な取り組みを進める「前期対象校」を選定します。

⑤ 本計画の決定

選定された「前期対象校」の保護者や地域住民に、③’で設けた意見聴取の場において「前期対象校」に関する説明を行います。いただいた保護者や地域住民からの意見についても勘案した上で、本計画を決定します。

⑥ 地域検討委員会の設置

⑤において成案となった本計画について、保護者、地域住民、学校関係者などで構成する地域検討委員会を設置し、当該校の適正規模の確保等に関する取り組みについて協議し、教育委員会に意見等を提出していただきます。

⑦ 個別実施計画の策定・実施

教育委員会は、地域検討委員会からいただいた意見等をもとに、当該校の適正規模の確保等に関する取り組みに向けた具体的な取り組みを個別実施計画としてまとめます。個別実施計画の推進にあたっては、保護者や地域住民の意見もいただきながら進めます。

6 適正規模の確保等に関する取り組みにあたっての留意事項

(1) 地域協議に向けた基本姿勢

ア 保護者等への配慮

取り組みは、行政だけで進めるのではなく、保護者等に情報提供や丁寧な説明を行い、目指す教育の姿や課題を共有し、その意見を尊重して検討していく必要があります。取り組みを進めるにあたっては、行政の考え方を説明する機会、保護者や地域住民の意見を聴く機会をより多く設けます。

イ 通学の安全確保と負担軽減

通学における児童生徒の安全確保や負担を軽減することが不可欠であり、やむを得ず遠距離通学となる場合、教育委員会は、交通機関等の通学手段を講じることを含めて検討します。

ウ 地域コミュニティへの配慮

学校は、児童生徒の教育施設であるだけでなく、その地域に暮らす住民にとって災害時の避難所や選挙の投票所、地域の交流の場など、地域施設としての機能も有しています。

また、児童生徒は、地域における見守り活動やあいさつ運動などを通じて、地域の中で育まれています。

取り組みを進めるにあたっては、こうした「地域とともにある学校づくり」にも配慮して進めます。

エ 情報の提供

学校の適正規模の確保等に関する取り組みの情報は、今後とも対象校の保護者や地域住民はもとより、広く市民に対して積極的な情報の提供に努め、情報を共有しながら取り組みを進めます。

(2) より良い教育環境の整備

ア 通学区域の見直し

小中学校の連携や地域ぐるみの教育を一層推進するため、学校の適正規模の確保等に関する取り組みと合わせ、通学距離、幹線道路、河川等の地路的条件や地域コミュニティとの整合性や一つの小学校から複数の中学校に分かれた進学の解消などに配慮し、通学区域の見直しを進めます。

イ 学校の統合の検討

将来とも児童生徒の増加が見込めず、小規模化の解消を図ることができない学校にあっては、近隣校との統合についても検討します。

統合を進める場合、対象校の教育環境については、統合が実施されるまでの間も良質な環境が維持されるよう引き続き学校施設の整備などに配慮します。また、統合による新校への円滑な移行のため、対象校間での事前交流、統合後の継続的な人員配置についても配慮し、新校への移行がスムーズに行われるよう進めます。

ウ 小規模特認校の指定拡大の検討

農村地域で特色ある教育を実践する学校への通学区域外からの入学を認める小規模特認校制度を充実させることが、恵まれた教育環境を生かした児童の学力向上等に資するだけでなく、農村地域の学校における児童数の確保の可能性を広げるものと考えことから、小中学校のつながりも含めて小規模特認校の指定拡大を検討します。

エ 小中一貫教育の検討

本市では、これまで中学校区を一つの単位としてとらえ、幼稚園、保育所（園）、小中学校が連携を一層深め子どもたちを育むエリア・ファミリー構想を進めてきました。その中で小中学校は、情報交換や交流を行いながら小学校から中学校への円滑な接続を目指しています。現在、小中学校の9年間を通じた系統的な教育を目指す小中一貫教育の導入について検討を行っているところであり、そうした取り組みについても配慮して進めます。

オ 学校施設の長寿命化計画との調整

今後策定する学校施設の長寿命化計画を推進するにあたっては、適正規模の確保等に関する取り組みとの調整を図りながら進めます。また、これらの取り組みには、一定の期間を要することから、その間においても良質な環境が維持されるよう学校施設の整備などに配慮します。

(3) 旧学校施設の活用方法

統合等により学校として使用しなくなる施設や土地については、地域の意見にも配慮しつつ、幅広く有効な活用方法を検討します。

<資料編>

学校別児童生徒数及び学校規模（学級数）の将来推計

小学校

(単位：人・学級)

学校名	区分	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
帯広小	児童数	183	183	190	197	181	175	176	169	164	159	158
	うち通常学級児童数	157	158	166	173	160	159	162	156	151	147	146
	うち特別支援児童数	26	25	24	24	21	16	14	13	13	12	12
	学級数	12	11	12	11	9	9	8	8	8	8	8
	うち通常学級数	7	7	8	7	6	6	6	6	6	6	6
うち特別支援学級数	5	4	4	4	3	3	2	2	2	2	2	
西小	児童数	231	229	211	195	190	173	163	157	163	161	159
	うち通常学級児童数	212	211	195	180	179	163	151	146	152	150	148
	うち特別支援児童数	19	18	16	15	11	10	12	11	11	11	11
	学級数	12	11	11	10	9	8	8	8	8	8	8
	うち通常学級数	9	8	8	7	7	6	6	6	6	6	6
うち特別支援学級数	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	
柏小	児童数	419	408	426	412	412	407	409	414	392	400	399
	うち通常学級児童数	385	376	390	380	383	381	380	385	364	374	372
	うち特別支援児童数	34	32	36	32	29	26	29	29	28	26	27
	学級数	19	18	19	18	18	16	17	17	17	16	17
	うち通常学級数	13	13	13	13	13	12	12	12	12	12	12
うち特別支援学級数	6	5	6	5	5	4	5	5	5	4	5	
明星小	児童数	468	480	464	468	445	413	416	410	405	381	380
	うち通常学級児童数	434	445	431	434	410	384	388	382	378	356	355
	うち特別支援児童数	34	35	33	34	35	29	28	28	27	25	25
	学級数	19	18	18	20	19	17	17	17	17	16	16
	うち通常学級数	14	13	13	15	14	13	12	12	13	12	12
うち特別支援学級数	5	5	5	5	5	4	5	5	4	4	4	
緑丘小	児童数	499	507	510	523	512	501	501	489	481	456	448
	うち通常学級児童数	459	468	471	485	473	464	464	453	445	422	416
	うち特別支援児童数	40	39	39	38	39	37	37	36	36	34	32
	学級数	21	22	22	22	21	21	21	19	18	17	17
	うち通常学級数	15	16	16	16	15	15	15	14	13	12	12
うち特別支援学級数	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5	
北栄小	児童数	328	343	378	374	365	372	361	338	313	307	303
	うち通常学級児童数	305	315	348	345	338	343	335	314	292	288	284
	うち特別支援児童数	23	28	30	29	27	29	26	24	21	19	19
	学級数	15	15	18	17	16	17	16	16	15	15	15
	うち通常学級数	11	11	13	13	12	12	12	12	12	12	12
うち特別支援学級数	4	4	5	4	4	5	4	4	3	3	3	
光南小	児童数	346	366	365	377	384	388	397	376	367	349	326
	うち通常学級児童数	312	329	332	346	354	362	370	351	343	326	305
	うち特別支援児童数	34	37	33	31	30	26	27	25	24	23	21
	学級数	17	18	17	17	17	17	17	16	15	15	15
	うち通常学級数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
うち特別支援学級数	5	6	5	5	5	5	5	4	3	3	3	
東小	児童数	197	203	192	180	176	175	172	168	166	164	155
	うち通常学級児童数	183	189	177	167	162	160	158	154	152	151	143
	うち特別支援児童数	14	14	15	13	14	15	14	14	14	13	12
	学級数	10	10	9	8	9	9	8	8	8	8	8
	うち通常学級数	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6
うち特別支援学級数	3	3	3	2	3	3	2	2	2	2	2	
啓西小	児童数	396	405	381	388	372	362	330	317	314	287	280
	うち通常学級児童数	382	391	365	369	352	341	307	295	292	268	262
	うち特別支援児童数	14	14	16	19	20	21	23	22	22	19	18
	学級数	15	16	15	15	15	15	15	15	14	14	14
	うち通常学級数	12	13	12	12	12	12	12	12	11	11	11
うち特別支援学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
稲田小	児童数	558	540	567	571	585	615	626	634	628	645	661
	うち通常学級児童数	530	516	538	537	548	573	582	590	584	600	614
	うち特別支援児童数	28	24	29	34	37	42	44	44	44	45	47
	学級数	23	21	22	23	24	25	25	24	24	24	26
	うち通常学級数	18	17	17	18	18	19	19	18	18	18	19
うち特別支援学級数	5	4	5	5	6	6	6	6	6	6	7	
豊成小	児童数	732	746	748	738	752	757	711	677	638	601	519
	うち通常学級児童数	690	702	698	691	703	703	660	629	593	558	484
	うち特別支援児童数	42	44	50	47	49	54	51	48	45	43	35
	学級数	28	28	29	28	28	29	27	26	25	24	20
	うち通常学級数	21	21	22	21	20	21	20	19	19	18	15
うち特別支援学級数	7	7	7	7	8	8	7	7	6	6	5	

学校名	区分	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
大空小	児童数	319	323	303	301	289	273	266	254	239	224	223
	うち通常学級児童数	297	299	284	282	273	255	246	235	220	206	205
	うち特別支援児童数	22	24	19	19	16	18	20	19	19	18	18
	学級数	16	16	15	14	14	13	12	12	12	9	9
	うち通常学級数	12	12	12	11	11	10	9	9	9	6	6
うち特別支援学級数	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
栄小	児童数	424	443	442	429	423	399	380	355	338	321	303
	うち通常学級児童数	388	407	408	399	396	373	353	332	316	300	282
	うち特別支援児童数	36	36	34	30	27	26	27	23	22	21	21
	学級数	18	18	17	17	17	16	16	16	15	15	15
	うち通常学級数	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
うち特別支援学級数	5	6	5	5	5	4	4	4	3	3	3	
若葉小	児童数	443	466	460	459	472	469	468	457	453	461	446
	うち通常学級児童数	421	439	431	432	445	439	434	423	419	425	411
	うち特別支援児童数	22	27	29	27	27	30	34	34	34	36	35
	学級数	18	18	20	18	18	18	19	19	17	17	17
	うち通常学級数	14	14	15	14	14	13	14	14	12	12	12
うち特別支援学級数	4	4	5	4	4	5	5	5	5	5	5	
広陽小	児童数	353	370	373	362	351	372	387	379	379	386	400
	うち通常学級児童数	326	340	346	338	327	344	359	352	353	361	374
	うち特別支援児童数	27	30	27	24	24	28	28	27	26	25	26
	学級数	17	17	16	16	16	16	17	16	16	16	16
	うち通常学級数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
うち特別支援学級数	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	4	
花園小	児童数	195	210	212	224	218	229	241	239	236	229	233
	うち通常学級児童数	172	185	188	201	196	210	223	222	219	212	215
	うち特別支援児童数	23	25	24	23	22	19	18	17	17	17	18
	学級数	10	11	11	11	10	11	11	12	11	11	10
	うち通常学級数	6	7	7	8	7	8	8	9	8	8	7
うち特別支援学級数	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	
啓北小	児童数	379	381	371	360	349	341	333	311	300	288	269
	うち通常学級児童数	359	362	352	338	325	317	309	288	279	267	250
	うち特別支援児童数	20	19	19	22	24	24	24	23	21	21	19
	学級数	15	15	15	15	16	16	16	16	15	14	13
	うち通常学級数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	10
うち特別支援学級数	3	3	3	3	4	4	4	4	3	3	3	
開西小	児童数	243	257	257	250	246	244	248	232	230	231	228
	うち通常学級児童数	228	241	239	232	229	228	229	214	212	213	210
	うち特別支援児童数	15	16	18	18	17	16	19	18	18	18	18
	学級数	13	12	13	11	10	11	12	10	9	9	9
	うち通常学級数	9	8	9	8	7	8	9	7	6	6	6
うち特別支援学級数	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	
明和小	児童数	366	344	335	317	301	270	261	246	228	220	215
	うち通常学級児童数	329	309	301	290	275	251	241	227	210	202	197
	うち特別支援児童数	37	35	34	27	26	19	20	19	18	18	18
	学級数	19	18	18	16	16	13	12	11	10	9	9
	うち通常学級数	12	12	12	12	12	10	9	8	7	6	6
うち特別支援学級数	7	6	6	4	4	3	3	3	3	3	3	
森の里小	児童数	260	263	259	246	267	262	238	241	237	252	243
	うち通常学級児童数	238	242	239	225	245	242	220	223	220	235	227
	うち特別支援児童数	22	21	20	21	22	20	18	18	17	17	16
	学級数	12	13	13	12	13	13	12	12	12	13	13
	うち通常学級数	9	10	10	9	10	10	9	9	9	10	10
うち特別支援学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
つつじが丘小	児童数	231	220	220	230	234	226	229	240	243	252	271
	うち通常学級児童数	209	197	199	212	215	210	212	223	226	235	253
	うち特別支援児童数	22	23	21	18	19	16	17	17	17	17	18
	学級数	10	10	11	11	10	11	12	12	12	12	14
	うち通常学級数	7	7	8	8	7	8	9	9	9	9	11
うち特別支援学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
川西小	児童数	145	154	178	186	199	206	214	211	195	186	170
	うち通常学級児童数	141	148	169	174	185	190	196	194	179	171	157
	うち特別支援児童数	4	6	9	12	14	16	18	17	16	15	13
	学級数	8	8	9	9	9	9	10	10	9	9	8
	うち通常学級数	6	6	7	7	6	6	7	7	6	6	6
うち特別支援学級数	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	2	
清川小	児童数	71	70	70	59	58	50	43	39	35	34	30
	うち通常学級児童数	65	65	65	54	55	48	43	39	35	34	30
	うち特別支援児童数	6	5	5	5	3	2	0	0	0	0	0
	学級数	8	7	7	7	6	6	4	4	4	3	3
	うち通常学級数	6	6	6	6	5	5	4	4	4	3	3
うち特別支援学級数	2	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	

学校名	区分	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
広野小	児童数	38	34	34	28	29	22	28	28	27	24	25
	うち通常学級児童数	35	31	31	27	29	22	28	28	27	24	25
	うち特別支援児童数	3	3	3	1	0	0	0	0	0	0	0
	学級数	6	5	5	4	3	3	4	4	3	3	3
	うち通常学級数	4	3	3	3	3	3	4	4	3	3	3
	うち特別支援学級数	2	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0
大正小	児童数	106	113	116	117	124	118	124	112	104	99	83
	うち通常学級児童数	100	106	108	109	115	111	115	104	96	91	76
	うち特別支援児童数	6	7	8	8	9	7	9	8	8	8	7
	学級数	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
	うち通常学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	うち特別支援学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
愛国小	児童数	27	25	24	24	23	22	22	22	22	20	19
	うち通常学級児童数	27	25	24	24	23	22	22	22	22	20	19
	うち特別支援児童数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	学級数	3	3	3	4	4	3	3	3	3	3	3
	うち通常学級数	3	3	3	4	4	3	3	3	3	3	3
	うち特別支援学級数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	児童数	7,957	8,083	8,086	8,015	7,957	7,841	7,744	7,515	7,297	7,137	6,946
	うち通常学級児童数	7,384	7,496	7,495	7,444	7,395	7,295	7,187	6,981	6,779	6,636	6,460
	うち特別支援児童数	573	587	591	571	562	546	557	534	518	501	486
	学級数	372	367	373	362	355	350	347	339	325	316	314
	うち通常学級数	270	268	274	272	263	260	259	254	246	238	236
	うち特別支援学級数	102	99	99	90	92	90	88	85	79	78	78

中学校

(単位：人・学級)

学校名	区分	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
第一中	生徒数	470	483	458	470	473	494	483	491	496	486	456
	うち通常学級生徒数	452	466	440	443	446	466	456	463	467	458	430
	うち特別支援生徒数	18	17	18	27	27	28	27	28	29	28	26
	学級数	17	17	15	18	19	18	18	18	19	18	17
	うち通常学級数	13	13	12	13	14	13	13	13	14	13	12
うち特別支援学級数	4	4	3	5	5	5	5	5	5	5	5	
第二中	生徒数	294	270	257	239	213	225	230	241	211	198	189
	うち通常学級生徒数	273	247	232	224	198	212	218	228	201	187	179
	うち特別支援生徒数	21	23	25	15	15	13	12	13	10	11	10
	学級数	13	12	12	10	8	9	10	10	8	8	8
	うち通常学級数	9	8	8	7	6	7	8	7	6	6	6
うち特別支援学級数	4	4	4	3	2	2	2	3	2	2	2	
第四中	生徒数	321	302	321	312	352	362	357	346	317	338	337
	うち通常学級生徒数	295	278	300	293	332	342	335	326	299	318	317
	うち特別支援生徒数	26	24	21	19	20	20	22	20	18	20	20
	学級数	14	13	13	11	13	13	13	13	12	13	12
	うち通常学級数	10	9	9	8	10	10	10	10	9	10	9
うち特別支援学級数	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	
第五中	生徒数	348	349	328	318	342	367	363	364	356	389	370
	うち通常学級生徒数	327	329	311	300	322	345	341	342	336	367	350
	うち特別支援生徒数	21	20	17	18	20	22	22	22	20	22	20
	学級数	15	14	13	13	13	13	13	13	13	13	13
	うち通常学級数	10	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10
うち特別支援学級数	5	5	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
第八中	生徒数	413	421	424	420	396	390	396	408	400	377	361
	うち通常学級生徒数	377	388	400	395	372	366	372	384	376	355	339
	うち特別支援生徒数	36	33	24	25	24	24	24	24	24	22	22
	学級数	18	18	15	16	15	14	15	16	15	14	14
	うち通常学級数	12	13	12	12	11	10	11	12	11	11	11
うち特別支援学級数	6	5	3	4	4	4	4	4	4	3	3	
大空中	生徒数	185	162	184	172	165	142	132	133	131	140	127
	うち通常学級生徒数	175	152	169	157	148	132	125	127	124	131	119
	うち特別支援生徒数	10	10	15	15	17	10	7	6	7	9	8
	学級数	8	8	9	8	9	7	7	7	7	8	7
	うち通常学級数	6	6	6	6	6	5	5	5	5	6	5
うち特別支援学級数	2	2	3	2	3	2	2	2	2	2	2	
南町中	生徒数	626	668	651	656	641	630	660	653	686	641	652
	うち通常学級生徒数	599	635	612	618	603	593	621	615	645	603	613
	うち特別支援生徒数	27	33	39	38	38	37	39	38	41	38	39
	学級数	22	23	23	23	23	22	24	22	25	23	24
	うち通常学級数	17	18	17	17	17	17	18	17	19	18	18
うち特別支援学級数	5	5	6	6	6	5	6	5	6	5	6	
西陵中	生徒数	416	376	381	387	418	395	399	402	410	396	376
	うち通常学級生徒数	406	362	362	365	394	371	375	380	386	372	354
	うち特別支援生徒数	10	14	19	22	24	24	24	22	24	24	22
	学級数	15	14	14	14	16	16	15	14	16	15	14
	うち通常学級数	12	11	11	11	12	12	11	11	12	11	11
うち特別支援学級数	3	3	3	3	4	4	4	3	4	4	3	
緑園中	生徒数	317	309	306	285	278	254	248	268	283	267	259
	うち通常学級生徒数	292	289	284	266	262	242	237	254	267	251	243
	うち特別支援生徒数	25	20	22	19	16	12	11	14	16	16	16
	学級数	13	13	12	12	12	11	10	11	12	11	11
	うち通常学級数	9	9	9	9	9	8	7	8	9	8	8
うち特別支援学級数	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
翔陽中	生徒数	495	478	467	477	490	479	473	464	488	479	473
	うち通常学級生徒数	462	453	446	450	461	451	445	437	460	452	447
	うち特別支援生徒数	33	25	21	27	29	28	28	27	28	27	26
	学級数	19	17	16	18	18	18	19	18	18	17	18
	うち通常学級数	14	13	13	13	13	13	14	13	13	12	13
うち特別支援学級数	5	4	3	5	5	5	5	5	5	5	5	
川西中	生徒数	75	77	64	63	65	75	82	90	106	107	113
	うち通常学級生徒数	70	74	61	60	61	71	78	86	100	100	106
	うち特別支援生徒数	5	3	3	3	4	4	4	4	6	7	7
	学級数	5	5	5	4	5	5	5	5	5	5	5
	うち通常学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
うち特別支援学級数	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	

学校名	区分	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
清川中	生徒数	22	25	26	32	32	37	34	34	29	22	21
	うち通常学級生徒数	17	21	24	30	31	36	34	34	29	22	21
	うち特別支援生徒数	5	4	2	2	1	1	0	0	0	0	0
	学級数	5	5	4	5	4	4	3	3	3	3	3
	うち通常学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
うち特別支援学級数	2	2	1	2	1	1	0	0	0	0	0	
八千代中	生徒数	14	15	16	25	18	25	17	19	12	13	12
	うち通常学級生徒数	12	14	15	25	17	24	16	19	12	13	12
	うち特別支援生徒数	2	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0
	学級数	4 (3)	3	4	3	3	3	3	2	2	2	2
	うち通常学級数	3 (2)	2	3	3	2	2	2	2	2	2	2
うち特別支援学級数	1	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0	
第七中	生徒数	79	76	71	64	66	70	66	68	67	74	80
	うち通常学級生徒数	76	72	67	59	61	64	61	63	63	69	75
	うち特別支援生徒数	3	4	4	5	5	6	5	5	4	5	5
	学級数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	うち通常学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
うち特別支援学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
合計	生徒数	4,075	4,011	3,954	3,920	3,949	3,945	3,940	3,981	3,992	3,927	3,826
	うち通常学級生徒数	3,833	3,780	3,723	3,685	3,708	3,715	3,714	3,758	3,765	3,698	3,605
	うち特別支援生徒数	242	231	231	235	241	230	226	223	227	229	221
	学級数	173	167	160	160	163	158	160	157	160	155	153
	うち通常学級数	124	120	119	118	119	116	118	117	119	116	114
うち特別支援学級数	49	47	41	42	44	42	42	40	41	39	39	

※八千代中及び合計の（ ）書きは、北海道教育委員会が定めた義務教育諸学校学級編制基準による学級編制表示。

地区（地域）ごとのカルテ

1 東地区

中学校	翔陽中学校	中学校区内の小学校	帯広小学校の一部、柏小学校、光南小学校の一部、東小学校、
-----	-------	-----------	------------------------------

(1) 学校（学校区）の特徴

翔陽中	平成23年に第三中・第六中を統合し、両校の通学区域として新校として開校しました。生徒数は概ね現状で推移し、通常学級も12学級以上で推移する見込みです。
帯広小	明治29年に帯広尋常小学校として開校し、昭和22年帯広小学校と改称し現在に至っています。児童数は減少し、通常学級は適正な学校規模を下回る6学級で推移する見込みです。中学校への進学先は、翔陽中、第五中に分散しています。
柏小	大正10年に帯広第二尋常小学校として開校し、昭和22年柏小学校と改称し現在に至っています。児童数は概ね現状で推移し、通常学級も12学級で推移する見込みです。
光南小	昭和29年に明星小から分離新設しました。児童数は緩やかな増加から減少に転じるものの、通常学級12学級で推移する見込みです。中学校への進学先は、翔陽中、第四中に分散しています。
東小	昭和30年に柏小から分離新設しました。児童数の減少が続き、通常学級は適正な学校規模を下回る6学級で推移する見込みです。
その他	小学校区を大通、電信通、鉄南火防線などで分けているため、分断されている単位町内会があります。

(2) 児童生徒数・学級数の推計（平成29年5月1日現在）

コーホート変化率法による推計

(単位:人・学級)

学校名	区分	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
翔陽中	生徒数	495	478	467	477	490	479	473	464	488	479	473
	うち通常学級生徒数	462	453	446	450	461	451	445	437	460	452	447
	うち特別支援生徒数	33	25	21	27	29	28	28	27	28	27	26
	学級数	19	17	16	18	18	18	19	18	18	17	18
	うち通常学級数	14	13	13	13	13	13	14	13	13	12	13
	うち特別支援学級数	5	4	3	5	5	5	5	5	5	5	5
帯広小	児童数	183	183	190	197	181	175	176	169	164	159	158
	うち通常学級児童数	157	158	166	173	160	159	162	156	151	147	146
	うち特別支援児童数	26	25	24	24	21	16	14	13	13	12	12
	学級数	12	11	12	11	9	9	8	8	8	8	8
	うち通常学級数	7	7	8	7	6	6	6	6	6	6	6
	うち特別支援学級数	5	4	4	4	3	3	2	2	2	2	2
柏小	児童数	419	408	426	412	412	407	409	414	392	400	399
	うち通常学級児童数	385	376	390	380	383	381	380	385	364	374	372
	うち特別支援児童数	34	32	36	32	29	26	29	29	28	26	27
	学級数	19	18	19	18	18	16	17	17	17	16	17
	うち通常学級数	13	13	13	13	13	12	12	12	12	12	12
	うち特別支援学級数	6	5	6	5	5	4	5	5	5	4	5

学校名	区 分	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	
光南小	児童数	346	366	365	377	384	388	397	376	367	349	326	
	うち通常学級児童数	312	329	332	346	354	362	370	351	343	326	305	
	うち特別支援児童数	34	37	33	31	30	26	27	25	24	23	21	
	学級数	17	18	17	17	17	17	17	17	16	15	15	15
	うち通常学級数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
	うち特別支援学級数	5	6	5	5	5	5	5	5	4	3	3	3
東 小	児童数	197	203	192	180	176	175	172	168	166	164	155	
	うち通常学級児童数	183	189	177	167	162	160	158	154	152	151	143	
	うち特別支援児童数	14	14	15	13	14	15	14	14	14	14	12	
	学級数	10	10	9	8	9	9	8	8	8	8	8	8
	うち通常学級数	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	うち特別支援学級数	3	3	3	2	3	3	2	2	2	2	2	2

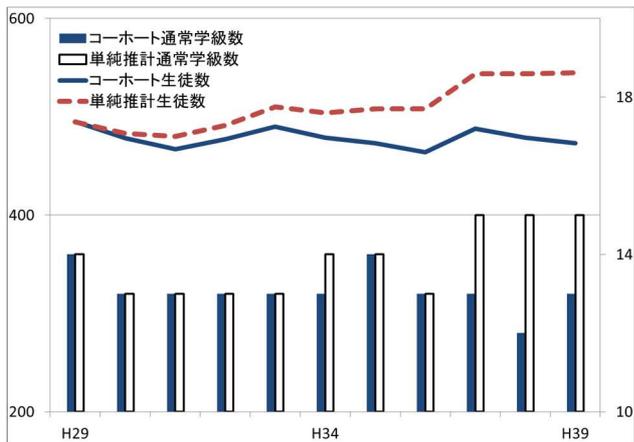
*参考 単純進行による推計

(単位:人・学級)

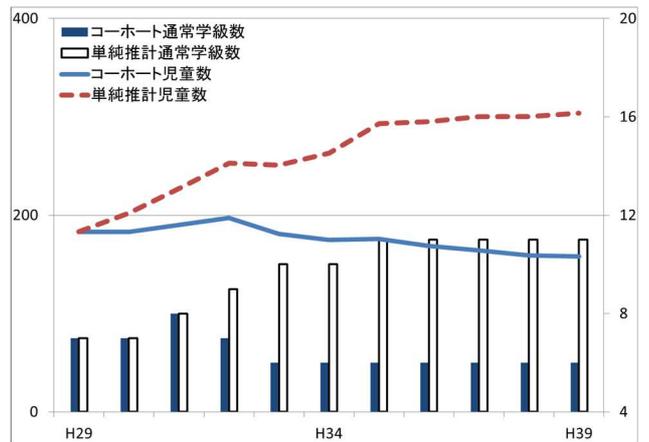
学校名	区 分	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	
翔陽中	生徒数	495	483	480	491	510	504	508	508	544	544	545	
	うち通常学級生徒数	462	458	459	464	481	475	478	478	512	512	513	
	うち特別支援生徒数	33	25	21	27	29	29	30	30	32	32	32	
	学級数	19	17	16	18	18	19	19	19	18	20	20	20
	うち通常学級数	14	13	13	13	13	14	14	14	13	15	15	15
	うち特別支援学級数	5	4	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5
帯広小	児童数	183	202	227	253	251	263	293	295	300	300	304	
	うち通常学級児童数	157	177	203	229	230	245	274	276	281	281	284	
	うち特別支援児童数	26	25	24	24	21	18	19	19	19	19	20	
	学級数	12	11	12	13	13	13	14	14	14	14	14	
	うち通常学級数	7	7	8	9	10	10	11	11	11	11	11	
	うち特別支援学級数	5	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	
柏 小	児童数	419	411	428	410	403	390	381	376	348	352	343	
	うち通常学級児童数	385	379	392	379	376	366	356	351	325	328	319	
	うち特別支援児童数	34	32	36	31	27	24	25	25	23	24	24	
	学級数	19	18	19	18	16	16	16	16	16	16	16	
	うち通常学級数	13	13	13	13	12	12	12	12	12	12	12	
	うち特別支援学級数	6	5	6	5	4	4	4	4	4	4	4	
光南小	児童数	346	370	375	394	411	428	449	431	427	410	384	
	うち通常学級児童数	312	333	342	361	378	397	415	399	395	380	356	
	うち特別支援児童数	34	37	33	33	33	31	34	32	32	30	28	
	学級数	17	18	17	17	18	19	19	18	17	17	16	
	うち通常学級数	12	12	12	12	13	14	14	13	12	12	12	
	うち特別支援学級数	5	6	5	5	5	5	5	5	5	5	4	
東 小	児童数	197	203	197	196	205	210	215	216	214	211	201	
	うち通常学級児童数	183	189	181	180	188	192	198	199	197	194	184	
	うち特別支援児童数	14	14	16	16	17	18	17	17	17	17	17	
	学級数	10	10	9	9	10	10	9	9	9	9	9	
	うち通常学級数	7	7	6	6	7	7	6	6	6	6	6	
	うち特別支援学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	

【参考】

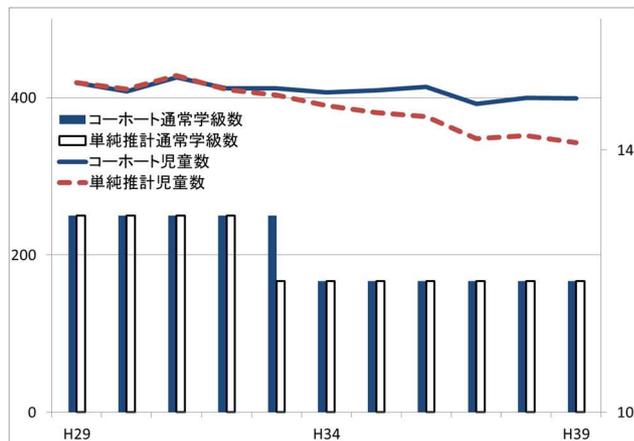
翔陽中 生徒数及び通常学級数の推計



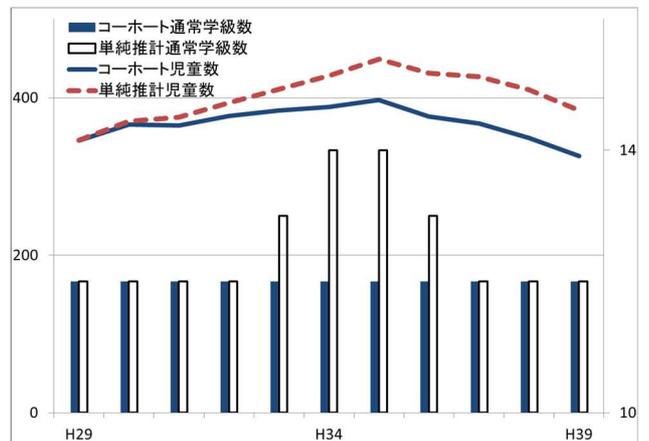
帯広小 児童数及び通常学級数の推計



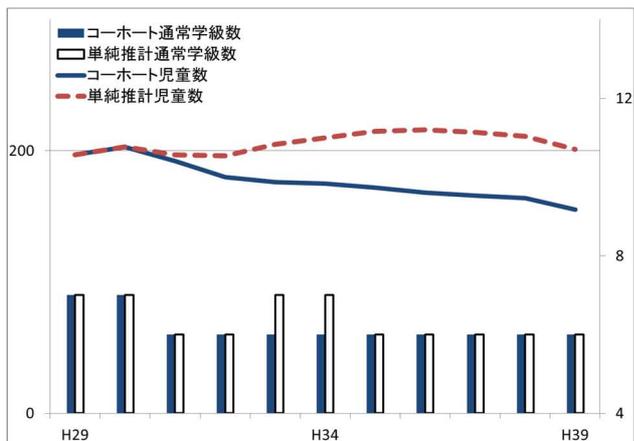
柏小 児童数及び通常学級数の推計



光南小 児童数及び通常学級数の推計



東小 児童数及び通常学級数の推計



(3) 教職員の配置状況(平成29年度)

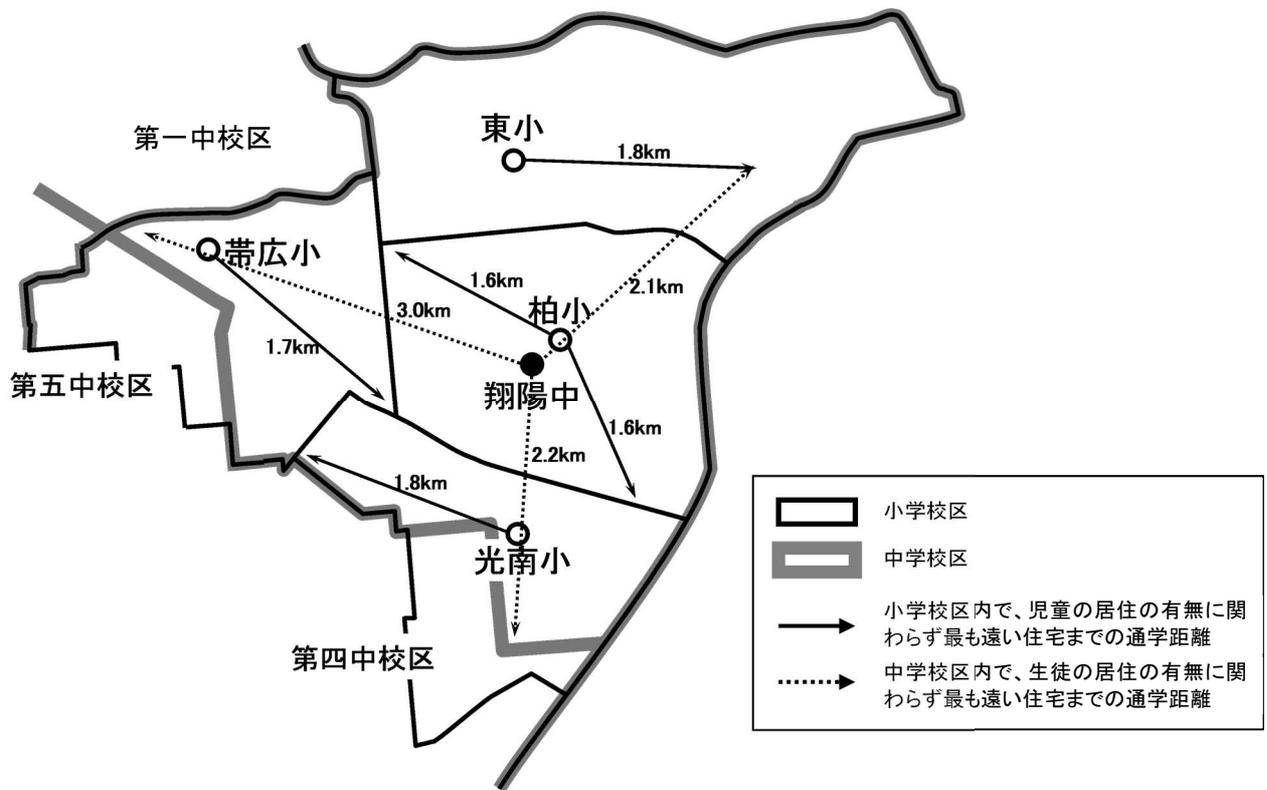
(単位:人)

学校名	教職員配置基準	加配	特別支援学級	栄養教諭	養護教諭	事務職員	合計
翔陽中	23	1	6	0	1	1	32
帯広小	10	6	7	0	1	1	25
柏小	17	1.5	8	1	1	1	29.5
光南小	15	1	7	0	1	1	25
東小	10	1	5	0	1	1	18

※教職員配置基準には、校長・教頭含む。 0.5人工は、再任用の短時間勤務職員。

(4) 通学区域及び通学距離

通学区域と通学距離は、下図のとおりとなっています。翔陽中は、一定の条件のもと登下校時の自転車通学を認めています。



(5) 学校と町内会の関係

(平成30年4月1日現在)

中学校	小学校	単位町内会	地区連合町内会
翔陽中	帯広小	大三会(一部)、大四交睦(一部)、五盟(一部)、西三条平和親睦、三光、河南、奉公、センターパーク、新興、睦、西互助12、曙、西互助、西五条親交、十土、緑園、黎明、灯下、新生(一部)、親交(一部)、親盛、緑親、大6親睦(一部)、大7親友(一部)、大八盟友(一部)、大通9丁目親睦(一部)、大通南十丁目親睦(一部)、大通11丁目(一部)、大通12丁目(一部)、大通13丁目共和会(一部)、三和親睦、西1・4共親会、互親、六友会、七友会、西一・八親善、西1条南10丁目、西1・11親交会、西1条12丁目親睦会、三・四同交会、西2の5、福六、七福、二・八、友信、西2条南10丁目共和、駅前、共栄、西3条南9丁目、西3条南10丁目、西4条6開発官舎、センターシティ1、親栄、開広、西11条橋南、八条コーポ	東北連合町内会(一部) 暁連合町内会 中央西地区連合町内会(一部)

中学校	小学校	単位町内会	地区連合町内会
	柏小	東3・4親睦（一部）、柏光、東祥親睦、東苑、東明、若草、東才バ リバリ親睦、東友東親、東十和、東、農試跡南町、東陽北、東陽、報 徳、東九・七親睦、新泉、祥南第1、祥南第2、祥和、桂、晩成、東 郊協和、柏親交、柏、道営中央団地1、道営中央2自治会、十三四、 東和5・6親睦、東5・7親睦、東和、東6・9、瑞穂、東光、東和、 東亜親睦、東和親睦、東栄和、東4・6親共、東四・七、東4・8、 東三・七交和、東三・八、東鳩、東方親睦、東盟、東明、東四条東睦、 東3南14親交会、東3条共和、六交、東二・七、八交、東富久、十 交会、東栄、柏、十三交睦、東2条14・15親友、東1・6親、和 光、東1・8誠心会、親和、東和会、清和、交和、東1の13・14、 大6親睦（一部）、大7親友（一部）、大八盟友（一部）、大通9丁目 親睦（一部）、大通南十丁目親睦（一部）、大通11丁目（一部）、大 通12丁目（一部）、大通13丁目共和会（一部）	東北連合町内会（一部） 東部地区連合町内会 中央東連合町内会
	光南小	西1・15南親、南六、更正、公明、明交（一部）、新帯広平和、幸 進、幸栄（一部）、供和（一部）、東方、光南東、光南第一、クラック ス、東進、光南みなみ、東雲、南東団地、東南、コーポ光南第一親睦 会、光南、東興、東光、和光（一部）、南栄、鈴蘭、新交、新光、東 1・15親和、南興、光友親睦、文化街、更新、平成、睦、隣和、親 友、大19親和	鉄南地区連合町内会（一部） 鉄南地区東連合町内会（一部）
	東小	バラト東、いたどり、新バラト、バラト中央、バラト西南、オリエン タルコーポ親睦会、春日東、春日西、春日南、帯里、帯広発祥、東、 清泉親睦、発祥親睦会、依田町、東睦、神護親睦、神護東、神護、東 4・5東栄、東3・4親睦（一部）、東2の2・3、世互親、東2・ 5、東1条若葉、東1・4睦、東5親交会、大三会（一部）、大四交 睦（一部）、五盟（一部）、北星、大川町親和、コーポ第2リバーサイ ド親睦会、リバーサイド、東1条北郵政、神苑昭睦	東北連合町内会（一部） 北栄連合町内会（一部）

（6）検討課題

概ね現状の児童生徒数で推移しますが、東小・帯広小は今後も12学級を下回る通常学級数で推移する見込みであるこ
とや、光南小・帯広小は、進学先の中学校が複数校となっていることから、適正規模の確保等の検討が必要と考えます。

2 鉄南地区

中学校	第四中学校	中学校区内の小学校	明星小学校、光南小学校の一部、花園小学校の一部
-----	-------	-----------	-------------------------

(1) 学校（学校区）の特徴

第四中	通学区域を変更し第三中の一部編入、稲田中を統合して昭和26年に分離新設しました。生徒数は概ね微増で推移し、通常学級も9学級以上で推移する見込みです。
明星小	昭和10年に明星尋常小学校として開校し、昭和22年明星小学校に改称し現在に至っています。また、平成24年度に豊成小の通学区域の一部を変更して編入しました。児童数は減少傾向が続くものの、通常学級は12学級以上で推移する見込みです。
光南小 (再掲)	昭和29年に明星小から分離新設しました。児童数は緩やかな増加から減少に転じるものの、通常学級12学級で推移する見込みです。中学校への進学先は、翔陽中、第四中に分散しています。
花園小	公園東町区域における住宅団地開発事業の進展に伴い、明星小、緑丘小、稲田小から昭和57年に分離新設しました。児童数は現在より増加で推移しますが、通常学級は適正な学校規模の基準を下回る7~8学級程度で推移する見込みです。中学校への進学は、第四中、第五中、南町中に分散しています。
その他	小学校区を大通や鉄南火防線などで分けているため、分断されている単位町内会があります。

(2) 児童生徒数・学級数の推計（平成29年5月1日現在）

コーホート変化率法による推計

(単位:人・学級)

学校名	区分	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	
第四中	生徒数	321	302	321	312	352	362	357	346	317	338	337	
	うち通常学級生徒数	295	278	300	293	332	342	335	326	299	318	317	
	うち特別支援生徒数	26	24	21	19	20	20	22	20	18	20	20	
	学級数	14	13	13	11	13	13	13	13	13	12	13	12
	うち通常学級数	10	9	9	8	10	10	10	10	10	9	10	9
	うち特別支援学級数	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3
明星小	児童数	468	480	464	468	445	413	416	410	405	381	380	
	うち通常学級児童数	434	445	431	434	410	384	388	382	378	356	355	
	うち特別支援児童数	34	35	33	34	35	29	28	28	27	25	25	
	学級数	19	18	18	20	19	17	17	17	17	17	16	16
	うち通常学級数	14	13	13	15	14	13	12	12	13	12	12	
	うち特別支援学級数	5	5	5	5	5	4	5	5	4	4	4	
光南小 (再掲)	児童数	346	366	365	377	384	388	397	376	367	349	326	
	うち通常学級児童数	312	329	332	346	354	362	370	351	343	326	305	
	うち特別支援児童数	34	37	33	31	30	26	27	25	24	23	21	
	学級数	17	18	17	17	17	17	17	17	16	15	15	15
	うち通常学級数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
	うち特別支援学級数	5	6	5	5	5	5	5	5	4	3	3	3
花園小	児童数	195	210	212	224	218	229	241	239	236	229	233	
	うち通常学級児童数	172	185	188	201	196	210	223	222	219	212	215	
	うち特別支援児童数	23	25	24	23	22	19	18	17	17	17	18	
	学級数	10	11	11	11	10	11	11	12	11	11	10	
	うち通常学級数	6	7	7	8	7	8	8	9	8	8	7	
	うち特別支援学級数	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	

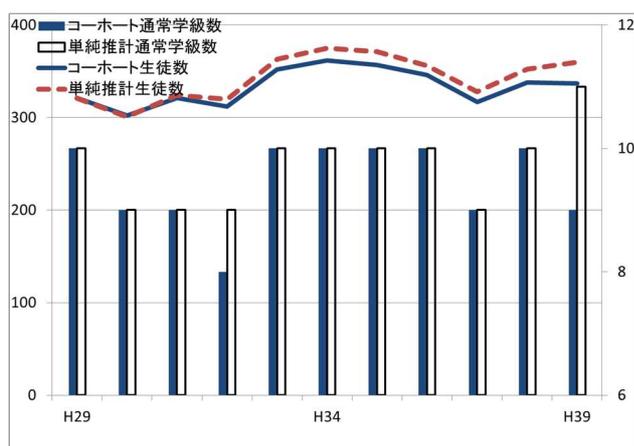
*参考 単純進行による推計

(単位:人・学級)

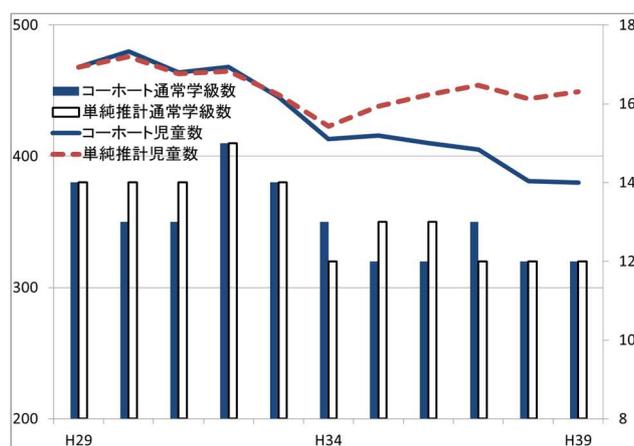
学校名	区分	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	
第四中	生徒数	321	301	324	320	363	375	371	356	328	352	360	
	うち通常学級生徒数	295	277	303	301	341	353	349	336	310	332	340	
	うち特別支援生徒数	26	24	21	19	22	22	22	20	18	20	20	
	学級数	14	13	13	12	13	13	13	13	13	12	13	14
	うち通常学級数	10	9	9	9	10	10	10	10	10	9	10	11
	うち特別支援学級数	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3
明星小	児童数	468	476	463	465	447	423	438	447	454	444	449	
	うち通常学級児童数	434	442	430	432	412	391	406	413	419	409	413	
	うち特別支援児童数	34	34	33	33	35	32	32	34	35	35	36	
	学級数	19	19	19	20	19	17	18	18	17	17	17	
	うち通常学級数	14	14	14	15	14	12	13	13	12	12	12	
	うち特別支援学級数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
光南小 (再掲)	児童数	346	370	375	394	411	428	449	431	427	410	384	
	うち通常学級児童数	312	333	342	361	378	397	415	399	395	380	356	
	うち特別支援児童数	34	37	33	33	33	31	34	32	32	30	28	
	学級数	17	18	17	17	18	19	19	18	17	17	16	
	うち通常学級数	12	12	12	12	13	14	14	13	12	12	12	
	うち特別支援学級数	5	6	5	5	5	5	5	5	5	5	4	
花園小	児童数	195	214	220	234	232	245	252	247	237	224	224	
	うち通常学級児童数	172	189	196	211	210	226	235	230	220	207	207	
	うち特別支援児童数	23	25	24	23	22	19	17	17	17	17	17	
	学級数	10	11	12	11	10	11	12	12	12	11	11	
	うち通常学級数	6	7	8	8	7	8	9	9	9	8	8	
	うち特別支援学級数	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	

【参考】

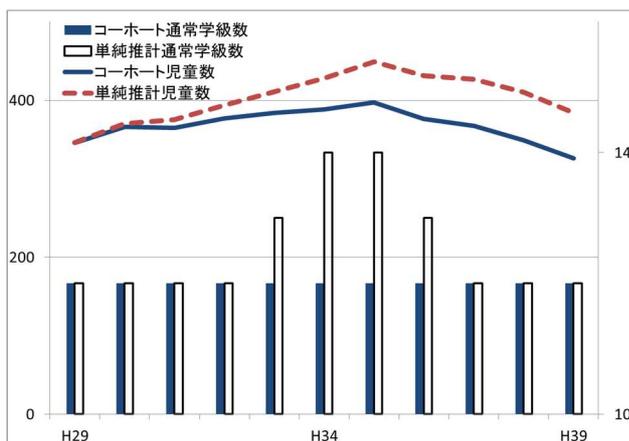
第四中 生徒数及び通常学級数の推計



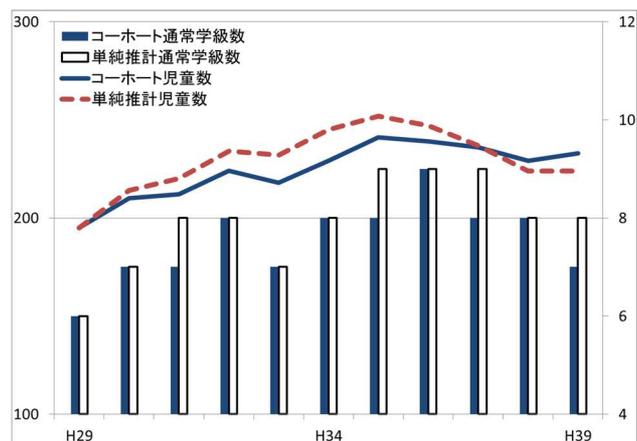
明星小 児童数及び通常学級数の推計



光南小（再掲） 児童数及び通常学級数の推計



花園小 児童数及び通常学級数の推計



(3) 教職員の配置状況（平成 29 年度）

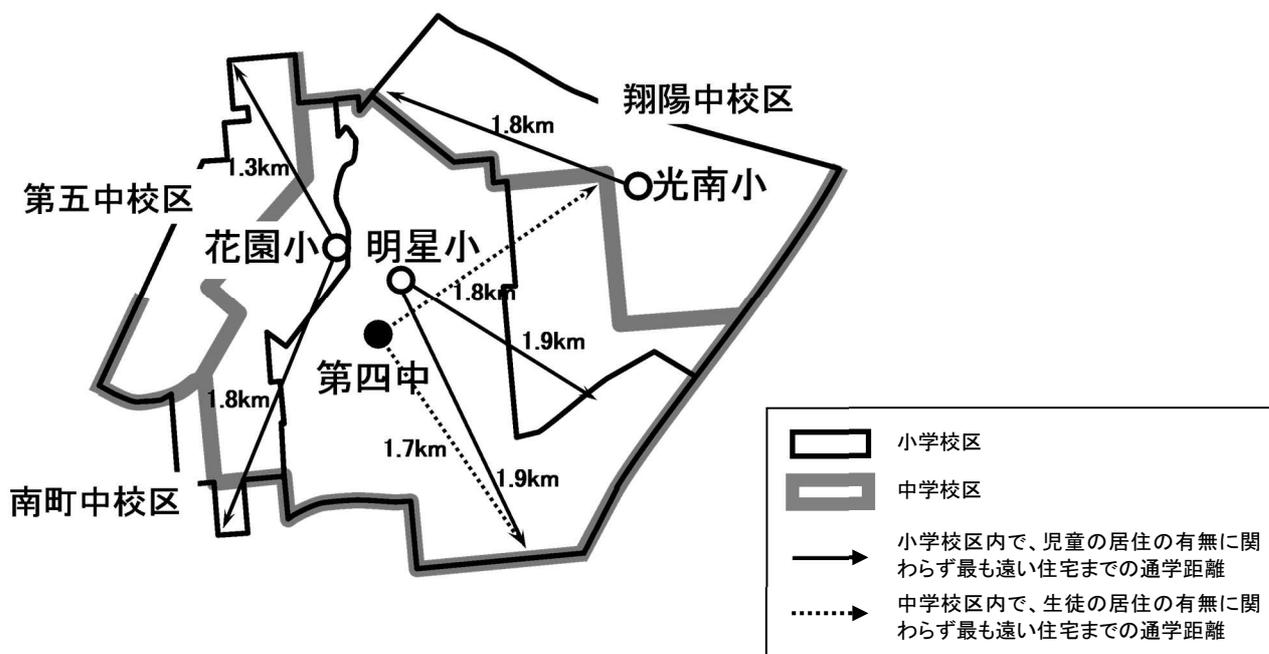
（単位：人）

学校名	教職員配置基準	加配	特別支援学級	養護教諭	事務職員	合計
第四中	16	4	5	1	1	27
明星小	18	2.5	7	1	1	29.5
光南小(再掲)	15	1	7	1	1	25
花園小	9	6	5	1	1	22

※教職員配置基準には、校長・教頭含む。 0.5 人工は、再任用の短時間勤務職員。

(4) 通学区域及び通学距離

通学区域と通学距離は、下図のとおりとなっています。



(5) 学校と町内会の関係

(平成30年4月1日現在)

中学校	小学校	単位町内会	地区連合町内会
第四中	明星小	明交（一部）、永和（一部）、五交（一部）、協和親睦、新和、南園親睦、明和、行幸、明協、互親、明光（一部）、明星親睦、南栄、一条親交、二八、さつき、南豪、三十丁目、幸栄（一部）、親栄、供和（一部）、育生、十九丁目睦、親和、西5・19東、十九和、明和親睦、常盤、大谷、明星、明星共和、啓明、むつみ、第一啓明、新明、三友、明親、四中、六栄歩、六栄第三、六栄東、六栄向陽、六栄第一、新成、南ヶ丘、丘の上、太陽、弥生、若草（一部）、花園（一部）、新生、帯広南橋、豊成北、公務員宿舎稲田、豊栄、新生（一部）、緑（一部）	鉄南地区連合町内会（一部） 緑栄連合町内会（一部） 豊成連合町内会（一部） 中央西地区連合町内会（一部）
	光南小	明光（一部）、永和（一部）、五交（一部）、東三四、南友、田園、平原、南平原、和光（一部）、清南、松葉、公栄、20丁目、鉄心、第一鉄心、南鉄心、双栄、南交、南生、南親、帯南、南陵親和、二十八区親交	鉄南地区連合町内会（一部） 鉄南地区東連合町内会（一部）
	花園小	公園、公園三〇、公園東町ハイツ1号、公園東町ハイツ2号、公園東町ハイツ3号、公園朝日、公園東町、柏葉、緑園、若草（一部）、花園（一部）、緑新、七緑、スズラン、緑（一部）	緑栄連合町内会（一部） 中央西地区連合町内会（一部）

(6) 検討課題

概ね現状の児童生徒数で推移しますが、花園小は今後も通常学級12学級を下回る通常学級数で推移する見込みであることや、花園小、光南小は、進学先の中学校が複数校となっていることから、適正規模の確保等の検討が必要と考えます。

3 川北地区

中学校	第一中学校	中学校区内の小学校	北栄小学校、栄小学校の一部、啓北小学校
-----	-------	-----------	---------------------

(1) 学校（校区）の特徴

第一中	昭和 22 年に学制改革により、啓北高等小学校から帯広市立帯広第一中学校と改称して開校しました。生徒数は概ね現状で推移し、通常学級は 12 学級以上で推移する見込みです。
北栄小	昭和 28 年に帯広小から分離新設しました。児童数は増加から減少に転じるものの、通常学級は 12 学級で推移する見込みです。
栄小	昭和 46 年に北栄小から分離新設しました。児童数は数年間の微増から減少に転じるものの、通常学級 12 学級で推移する見込みです。中学校への進学先は、第一中、西陵中に分散しています。
啓北小	北栄小、栄小の児童急増に伴い、両校の通学区域を一部変更して、昭和 58 年に分離新設しました。児童数は減少傾向が続くものの、当面通常学級は 12 学級ですが、平成 38 年度以降適正な学校規模を下回る通常学級 10～11 学級となる見込みです。
その他	小学校区や町内会区域が複雑に分かれているため、分断されている町内会があります。

(2) 児童生徒数・学級数の推計（平成 29 年 5 月 1 日現在）

コーホート変化率法による推計

(単位:人・学級)

学校名	区 分	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
第一中	生徒数	470	483	458	470	473	494	483	491	496	486	456
	うち通常学級生徒数	452	466	440	443	446	466	456	463	467	458	430
	うち特別支援生徒数	18	17	18	27	27	28	27	28	29	28	26
	学級数	17	17	15	18	19	18	18	18	19	18	17
	うち通常学級数	13	13	12	13	14	13	13	13	14	13	12
	うち特別支援学級数	4	4	3	5	5	5	5	5	5	5	5
北栄小	児童数	328	343	378	374	365	372	361	338	313	307	303
	うち通常学級児童数	305	315	348	345	338	343	335	314	292	288	284
	うち特別支援児童数	23	28	30	29	27	29	26	24	21	19	19
	学級数	15	15	18	17	16	17	16	16	15	15	15
	うち通常学級数	11	11	13	13	12	12	12	12	12	12	12
	うち特別支援学級数	4	4	5	4	4	5	4	4	3	3	3
栄小	児童数	424	443	442	429	423	399	380	355	338	321	303
	うち通常学級児童数	388	407	408	399	396	373	353	332	316	300	282
	うち特別支援児童数	36	36	34	30	27	26	27	23	22	21	21
	学級数	18	18	17	17	17	16	16	16	15	15	15
	うち通常学級数	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
	うち特別支援学級数	5	6	5	5	5	4	4	4	3	3	3
啓北小	児童数	379	381	371	360	349	341	333	311	300	288	269
	うち通常学級児童数	359	362	352	338	325	317	309	288	279	267	250
	うち特別支援児童数	20	19	19	22	24	24	24	23	21	21	19
	学級数	15	15	15	15	16	16	16	16	15	14	13
	うち通常学級数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	10
	うち特別支援学級数	3	3	3	3	4	4	4	4	3	3	3

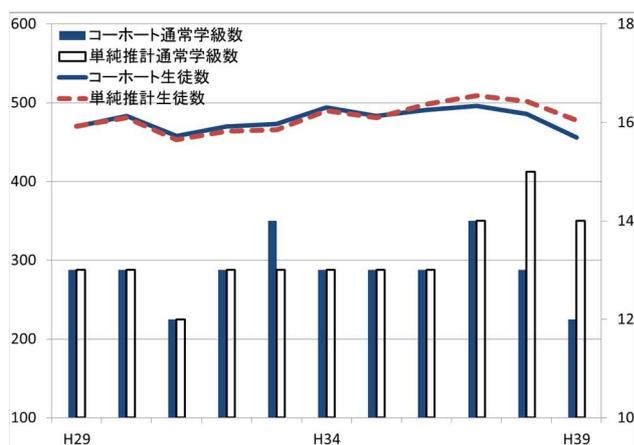
*参考 単純進行による推計

(単位:人・学級)

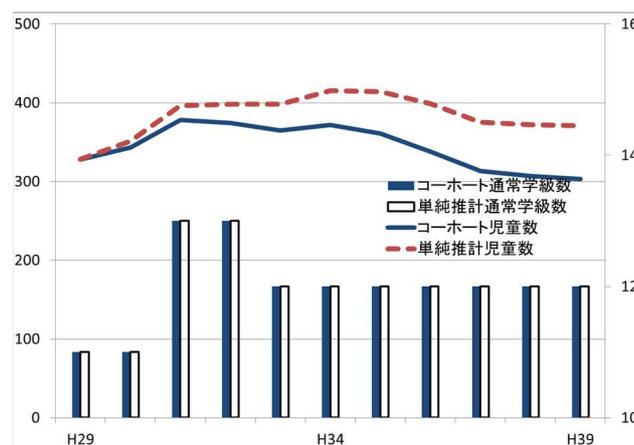
学校名	区分	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	
第一中	生徒数	470	481	453	464	466	490	481	498	509	502	478	
	うち通常学級生徒数	452	464	435	437	439	462	454	469	479	472	450	
	うち特別支援生徒数	18	17	18	27	27	28	27	29	30	30	28	
	学級数	17	17	15	18	18	18	18	18	18	19	20	19
	うち通常学級数	13	13	12	13	13	13	13	13	13	14	15	14
	うち特別支援学級数	4	4	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5
北栄小	児童数	328	351	396	398	398	415	414	399	375	372	371	
	うち通常学級児童数	305	323	366	368	370	383	384	371	349	346	345	
	うち特別支援児童数	23	28	30	30	28	32	30	28	26	26	26	
	学級数	15	15	18	17	16	17	17	16	16	16	16	
	うち通常学級数	11	11	13	13	12	12	12	12	12	12	12	
	うち特別支援学級数	4	4	5	4	4	5	5	4	4	4	4	
栄小	児童数	424	442	440	427	430	414	407	392	387	380	369	
	うち通常学級児童数	388	406	406	397	402	387	380	367	362	355	345	
	うち特別支援児童数	36	36	34	30	28	27	27	25	25	25	24	
	学級数	18	19	18	17	17	16	16	16	16	16	16	
	うち通常学級数	13	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12	
	うち特別支援学級数	5	6	5	5	5	4	4	4	4	4	4	
啓北小	児童数	379	378	371	358	348	341	332	313	302	290	274	
	うち通常学級児童数	359	359	352	336	323	317	308	290	280	269	254	
	うち特別支援児童数	20	19	19	22	25	24	24	23	22	21	20	
	学級数	15	15	15	15	16	16	16	16	15	14	13	
	うち通常学級数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	10	
	うち特別支援学級数	3	3	3	3	4	4	4	4	3	3	3	

【参考】

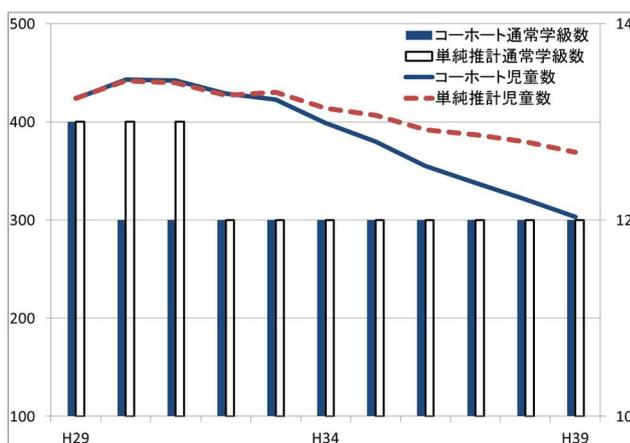
第一中 生徒数及び通常学級数の推計



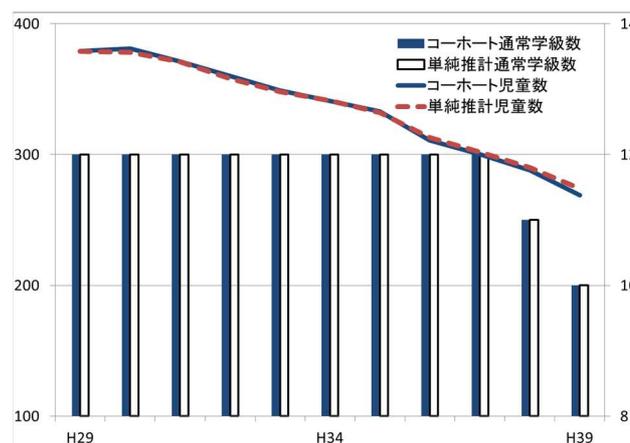
北栄小 児童数及び通常学級数の推計



栄小 児童数及び通常学級数の推計



啓北小 児童数及び通常学級数の推計



(3) 教職員の配置状況 (平成 29 年度)

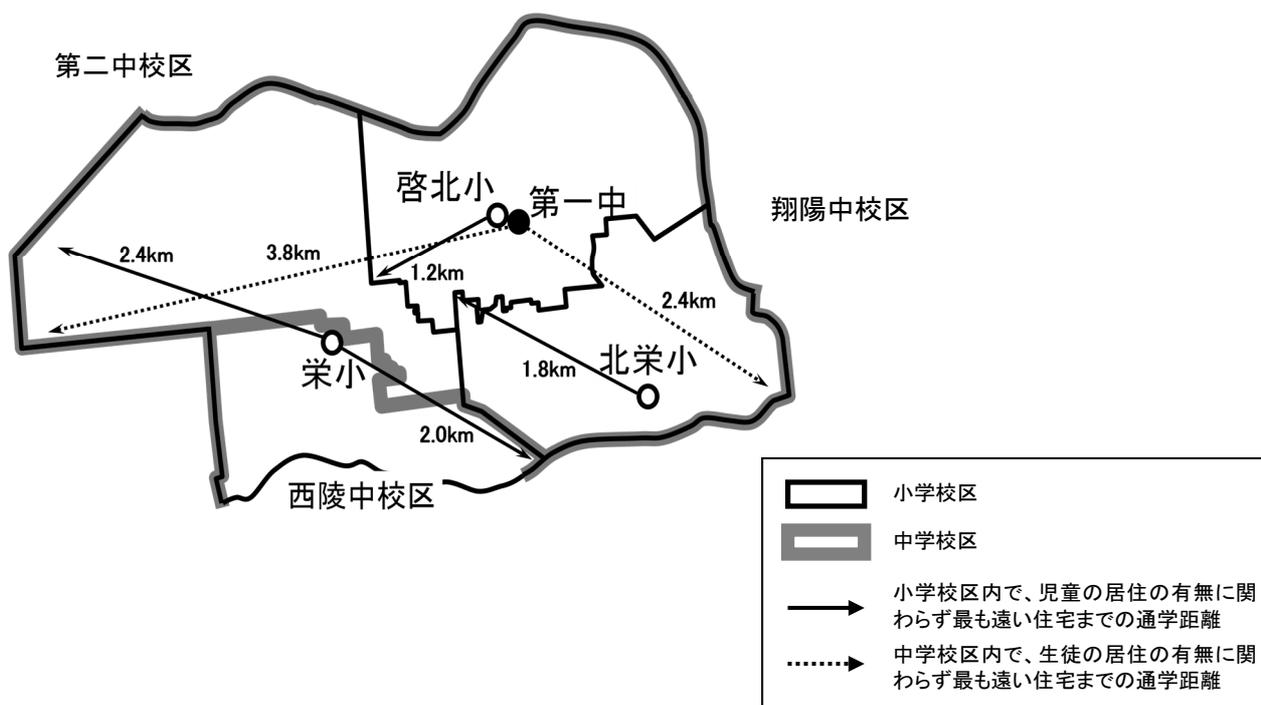
(単位：人)

学校名	教職員配置基準	加配	特別支援学級	栄養教諭	養護教諭	事務職員	合計
第一中	21	4	6	0	1	1	33
北栄小	14	1	5	0	1	1	22
栄小	15	3	7	1	1	1	28
啓北小	15	2	6	0	1	1	25

※教職員配置基準には、校長・教頭含む。

(4) 通学区域及び通学距離

通学区域と通学距離は、下図のとおりとなっています。第一中は、一定の条件のもと登下校時の自転車通学を認めています。



(5) 学校と町内会の関係

(平成 30 年 4 月 1 日現在)

中学校	小学校	単位町内会	地区連合町内会
第一中	北栄小	三和、北開、新十勝大橋、音石、西二条南一丁目、西二条2・3親交、睦親睦、明神、東蘭香、北栄、北光親睦、三吉親交、北親、みどり、西蘭香、川北、光北、捷和、三吉、北栄隣組、新栄、交和、寛裕、北鳳、第一交和、親成、北興(一部)、泰北、北交、共和、若草、北泉、西10条北親、拓栄、拓光東、北進、北明、拓光、いずみ野(一部)、北協和(一部)、西13条北、西14条親睦、西央、北一線(一部)、北友、玄友親睦、北郊、緑栄、玄進、北星、大心東(一部)	北栄連合町内会(一部) 啓北連合町内会(一部) 栄地区連合町内会(一部)
	栄小	報和(一部)、北一親睦(一部)、大心東(一部)、報友、広栄、西16条新和(一部)、大心中央、大心西、新栄、あづさ、緑陽、光栄、栄、栄北、北報和、栄町、西18条新和、柏友(一部)、正進親睦	栄地区連合町内会(一部) 西帯広連合町内会(一部)
	啓北小	北興(一部)、長和、新北西、北愛、玄北東、一中啓北、玄北中央、玄北西、緑勝、青葉、北一線(一部)、いずみ野(一部)、北協和(一部)、北伸第一、北伸、桜、西16条北2開発、北一親睦(一部)、大心東(一部)、報和(一部)、6号栄	啓北連合町内会(一部) 栄地区連合町内会(一部)

(6) 検討課題

地区内の小中学校の児童生徒数は減少で推移します。啓北小は、平成 38 年度には通常学級が 12 学級を下回る見込みであることから適正規模の確保等の検討は必要ですが、毎年度の校区内移動率が増減する状況にあり、今後の推移を注視する必要があると考えます。また、栄小は進学先の中学校が複数校となっていることから、適正規模の確保等の検討が必要と考えます。

4 西地区

中学校	第五中学校	中学校区内の小学校	帯広小学校の一部、緑丘小学校の一部、啓西小学校の一部、花園小学校の一部
中学校	第八中学校	中学校区内の小学校	若葉小学校、広陽小学校の一部、明和小学校
中学校	西陵中学校	中学校区内の小学校	啓西小学校の一部、栄小学校の一部、広陽小学校の一部

(1) 学校（学校区）の特徴

第五中	昭和34年に第四中から分離新設しました。当面、生徒数は現状で推移し、通常学級は10学級で推移する見込みです。
帯広小 (再掲)	明治29年に帯広尋常小学校として開校し、昭和22年帯広小学校と改称し現在に至っています。児童数は減少し、通常学級は適正な学校規模を下回る6学級で推移する見込みです。中学校への進学先は、翔陽中、第五中に分散しています。
緑丘小	昭和26年に明星小から分離新設しました。児童数は現状推移から減少傾向にあり、通常学級は15学級から12学級に減少する見込みです。
啓西小	柏林台団地の造成に伴い、昭和41年に帯広小、緑丘小から分離新設しました。児童数は減少傾向にあるものの、当面通常学級は12学級で推移しますが、平成37年度から適正な学校規模を下回る11学級に減少する見込みです。中学校への進学先は、西陵中、第五中に分散しています。
花園小 (再掲)	公園東町区域における住宅団地開発事業の進展に伴い、明星小、緑丘小、稲田小から昭和57年に分離新設しました。児童数は現在より増加で推移しますが、通常学級は適正な学校規模の基準を下回る7～8学級程度で推移する見込みです。中学校への進学は、第四中、第五中、南町中に分散しています。
第八中	自由が丘などの新興住宅地の人口急増のため昭和49年に第五中から分離新設しました。生徒数は緩やかに減少するものの、当面、通常学級は11学級で推移する見込みです。
若葉小	緑丘小、稲田小の大規模化を解消するため、昭和47年に分離新設しました。児童数は現状で推移するため、通常学級は12学級で推移する見込みです。
広陽小	啓西小、若葉小の児童急増に伴い、両校の通学区域を一部変更して、昭和54年に分離新設しました。児童数は概ね現状で推移し、通常学級は12学級で推移する見込みです。中学校への進学先は、西陵中、第八中に分散しています。
明和小	西地区の宅地開発に伴い、児童が急増する広陽小、若葉小の通学区域を一部変更して、平成2年に分離新設しました。20代から30代の流出のため児童数は大幅に減少し、通常学級は適正な学校規模を下回る6学級になる見込みです。
西陵中	第一中・第五中の大規模化を解消するため両校の通学区域を一部変更して、昭和53年に分離新設しました。生徒数は概ね現状で推移し、通常学級は11学級で推移する見込みです。
栄小 (再掲)	昭和46年に北栄小から分離新設しました。児童数は数年間の微増から減少に転じるものの、通常学級12学級で推移する見込みです。中学校への進学先は、第一中、西陵中に分散しています。
その他	小学校区、中学校区や町内会区域が複雑に分かれているため、分断されている町内会があります。

(2) 児童生徒数・学級数の推計(平成29年5月1日現在)

コホート変化率法による推計

(単位:人・学級)

学校名	区分	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
第五中	生徒数	348	349	328	318	342	367	363	364	356	389	370
	うち通常学級生徒数	327	329	311	300	322	345	341	342	336	367	350
	うち特別支援生徒数	21	20	17	18	20	22	22	22	20	22	20
	学級数	15	14	13	13	13	13	13	13	13	13	13
	うち通常学級数	10	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10
	うち特別支援学級数	5	5	3	3	3	3	3	3	3	3	3
帯広小 (再掲)	児童数	183	183	190	197	181	175	176	169	164	159	158
	うち通常学級児童数	157	158	166	173	160	159	162	156	151	147	146
	うち特別支援児童数	26	25	24	24	21	16	14	13	13	12	12
	学級数	12	11	12	11	9	9	8	8	8	8	8
	うち通常学級数	7	7	8	7	6	6	6	6	6	6	6
	うち特別支援学級数	5	4	4	4	3	3	2	2	2	2	2
緑丘小	児童数	499	507	510	523	512	501	501	489	481	456	448
	うち通常学級児童数	459	468	471	485	473	464	464	453	445	422	416
	うち特別支援児童数	40	39	39	38	39	37	37	36	36	34	32
	学級数	21	22	22	22	21	21	21	19	18	17	17
	うち通常学級数	15	16	16	16	15	15	15	14	13	12	12
	うち特別支援学級数	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5
啓西小	児童数	396	405	381	388	372	362	330	317	314	287	280
	うち通常学級児童数	382	391	365	369	352	341	307	295	292	268	262
	うち特別支援児童数	14	14	16	19	20	21	23	22	22	19	18
	学級数	15	16	15	15	15	15	15	15	14	14	14
	うち通常学級数	12	13	12	12	12	12	12	12	11	11	11
	うち特別支援学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
花園小 (再掲)	児童数	195	210	212	224	218	229	241	239	236	229	233
	うち通常学級児童数	172	185	188	201	196	210	223	222	219	212	215
	うち特別支援児童数	23	25	24	23	22	19	18	17	17	17	18
	学級数	10	11	11	11	10	11	11	12	11	11	10
	うち通常学級数	6	7	7	8	7	8	8	9	8	8	7
	うち特別支援学級数	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3
第八中	生徒数	413	421	424	420	396	390	396	408	400	377	361
	うち通常学級生徒数	377	388	400	395	372	366	372	384	376	355	339
	うち特別支援生徒数	36	33	24	25	24	24	24	24	24	22	22
	学級数	18	18	15	16	15	14	15	16	15	14	14
	うち通常学級数	12	13	12	12	11	10	11	12	11	11	11
	うち特別支援学級数	6	5	3	4	4	4	4	4	4	3	3
若葉小	児童数	443	466	460	459	472	469	468	457	453	461	446
	うち通常学級児童数	421	439	431	432	445	439	434	423	419	425	411
	うち特別支援児童数	22	27	29	27	27	30	34	34	34	36	35
	学級数	18	18	20	18	18	18	19	19	17	17	17
	うち通常学級数	14	14	15	14	14	13	14	14	12	12	12
	うち特別支援学級数	4	4	5	4	4	5	5	5	5	5	5

学校名	区 分	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
広陽小	児童数	353	370	373	362	351	372	387	379	379	386	400
	うち通常学級児童数	326	340	346	338	327	344	359	352	353	361	374
	うち特別支援児童数	27	30	27	24	24	28	28	27	26	25	26
	学級数	17	17	16	16	16	16	17	16	16	16	16
	うち通常学級数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
	うち特別支援学級数	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	4
明和小	児童数	366	344	335	317	301	270	261	246	228	220	215
	うち通常学級児童数	329	309	301	290	275	251	241	227	210	202	197
	うち特別支援児童数	37	35	34	27	26	19	20	19	18	18	18
	学級数	19	18	18	16	16	13	12	11	10	9	9
	うち通常学級数	12	12	12	12	12	10	9	8	7	6	6
	うち特別支援学級数	7	6	6	4	4	3	3	3	3	3	3
西陵中	生徒数	416	376	381	387	418	395	399	402	410	396	376
	うち通常学級生徒数	406	362	362	365	394	371	375	380	386	372	354
	うち特別支援生徒数	10	14	19	22	24	24	24	22	24	24	22
	学級数	15	14	14	14	16	16	15	14	16	15	14
	うち通常学級数	12	11	11	11	12	12	11	11	12	11	11
	うち特別支援学級数	3	3	3	3	4	4	4	3	4	4	3
栄小 (再掲)	児童数	424	443	442	429	423	399	380	355	338	321	303
	うち通常学級児童数	388	407	408	399	396	373	353	332	316	300	282
	うち特別支援児童数	36	36	34	30	27	26	27	23	22	21	21
	学級数	18	18	17	17	17	16	16	16	15	15	15
	うち通常学級数	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
	うち特別支援学級数	5	6	5	5	5	4	4	4	3	3	3

啓西小、広陽小、緑丘小は、西地区内で重複するため、記載を省略。

*参考 単純進行による推計

(単位:人・学級)

学校名	区 分	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
第五中	生徒数	348	342	313	295	326	357	357	368	354	390	366
	うち通常学級生徒数	327	323	297	278	306	335	335	346	334	368	346
	うち特別支援生徒数	21	19	16	17	20	22	22	22	20	22	20
	学級数	15	15	13	12	13	13	12	13	13	14	13
	うち通常学級数	10	10	10	9	10	10	9	10	10	11	10
	うち特別支援学級数	5	5	3	3	3	3	3	3	3	3	3
帯広小 (再掲)	児童数	183	202	227	253	251	263	293	295	300	300	304
	うち通常学級児童数	157	177	203	229	230	245	274	276	281	281	284
	うち特別支援児童数	26	25	24	24	21	18	19	19	19	19	20
	学級数	12	11	12	13	13	13	14	14	14	14	14
	うち通常学級数	7	7	8	9	10	10	11	11	11	11	11
	うち特別支援学級数	5	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3
緑丘小	児童数	499	515	528	550	549	551	571	568	563	538	529
	うち通常学級児童数	459	476	489	512	510	513	532	529	524	500	491
	うち特別支援児童数	40	39	39	38	39	38	39	39	39	38	38
	学級数	21	22	22	23	23	23	24	24	24	23	22
	うち通常学級数	15	16	16	17	17	17	18	18	18	17	16
	うち特別支援学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6

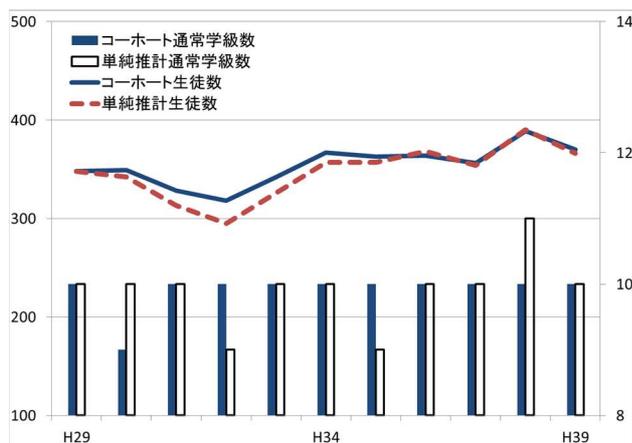
学校名	区 分	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
啓西小	児童数	396	404	383	395	387	390	365	362	367	346	340
	うち通常学級児童数	382	390	366	375	366	367	340	337	342	323	317
	うち特別支援児童数	14	14	17	20	21	23	25	25	25	23	23
	学級数	15	15	15	16	16	15	16	16	16	16	16
	うち通常学級数	12	12	12	13	13	12	12	12	12	12	12
	うち特別支援学級数	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4
花園小 (再掲)	児童数	195	214	220	234	232	245	252	247	237	224	224
	うち通常学級児童数	172	189	196	211	210	226	235	230	220	207	207
	うち特別支援児童数	23	25	24	23	22	19	17	17	17	17	17
	学級数	10	11	12	11	10	11	12	12	12	11	11
	うち通常学級数	6	7	8	8	7	8	9	9	9	8	8
	うち特別支援学級数	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3
第八中	生徒数	413	437	458	476	456	450	455	473	482	465	448
	うち通常学級生徒数	377	404	433	449	430	424	429	446	455	439	422
	うち特別支援生徒数	36	33	25	27	26	26	26	27	27	26	26
	学級数	18	18	17	17	17	18	18	18	18	17	17
	うち通常学級数	12	13	13	12	12	13	13	13	13	12	12
	うち特別支援学級数	6	5	4	5	5	5	5	5	5	5	5
若葉小	児童数	443	466	455	450	450	440	423	399	388	390	372
	うち通常学級児童数	421	439	426	423	423	412	393	371	362	363	347
	うち特別支援児童数	22	27	29	27	27	28	30	28	26	27	25
	学級数	18	18	19	17	18	18	17	16	16	16	16
	うち通常学級数	14	14	14	13	14	14	12	12	12	12	12
	うち特別支援学級数	4	4	5	4	4	4	5	4	4	4	4
広陽小	児童数	353	368	370	354	339	343	339	315	303	297	298
	うち通常学級児童数	326	339	344	331	316	319	316	294	283	278	279
	うち特別支援児童数	27	29	26	23	23	24	23	21	20	19	19
	学級数	17	17	16	16	16	16	15	15	15	15	15
	うち通常学級数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
	うち特別支援学級数	5	5	4	4	4	4	3	3	3	3	3
明和小	児童数	366	350	345	330	320	295	291	280	270	268	270
	うち通常学級児童数	329	315	311	303	294	276	271	261	252	250	252
	うち特別支援児童数	37	35	34	27	26	19	20	19	18	18	18
	学級数	19	18	18	16	16	15	15	14	13	13	13
	うち通常学級数	12	12	12	12	12	12	12	11	10	10	10
	うち特別支援学級数	7	6	6	4	4	3	3	3	3	3	3
西陵中	生徒数	416	377	381	386	414	389	393	395	397	380	362
	うち通常学級生徒数	406	363	362	364	390	367	371	373	373	356	340
	うち特別支援生徒数	10	14	19	22	24	22	22	22	24	24	22
	学級数	15	14	14	14	16	15	14	14	16	15	13
	うち通常学級数	12	11	11	11	12	12	11	11	12	11	10
	うち特別支援学級数	3	3	3	3	4	3	3	3	4	4	3

学校名	区 分	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
栄小 (再掲)	児童数	424	442	440	427	430	414	407	392	387	380	369
	うち通常学級児童数	388	406	406	397	402	387	380	367	362	355	345
	うち特別支援児童数	36	36	34	30	28	27	27	25	25	25	24
	学級数	18	19	18	17	17	16	16	16	16	16	16
	うち通常学級数	13	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12
	うち特別支援学級数	5	6	5	5	5	4	4	4	4	4	4

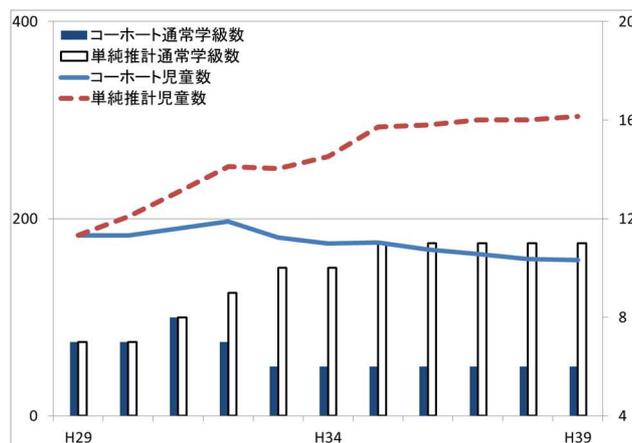
緑丘小、啓西小、広陽小は、西地区内で重複するため、記載を省略。

【参考】

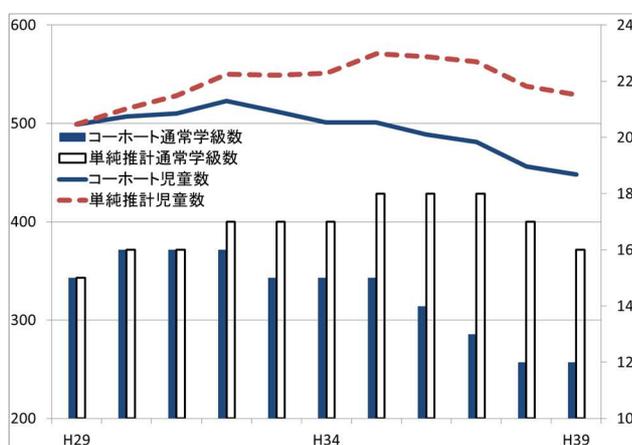
第五中 生徒数及び通常学級数の推計



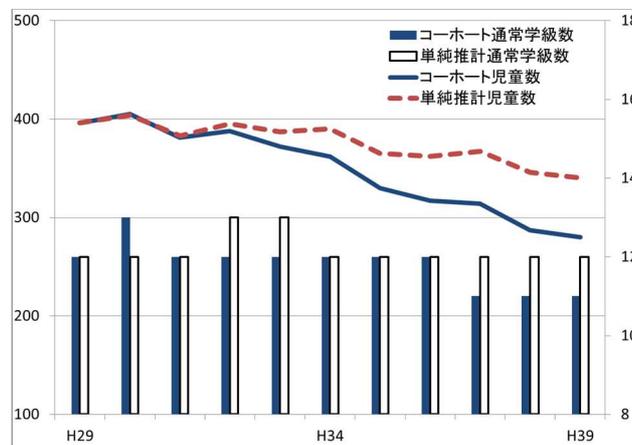
帯広小（再掲） 児童数及び通常学級数の推計



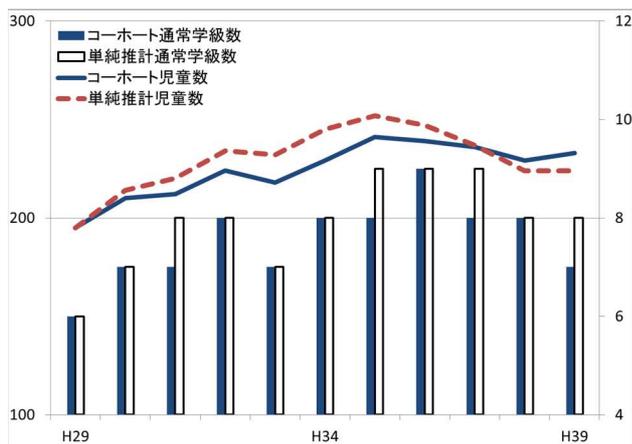
緑丘小 児童数及び通常学級数の推計



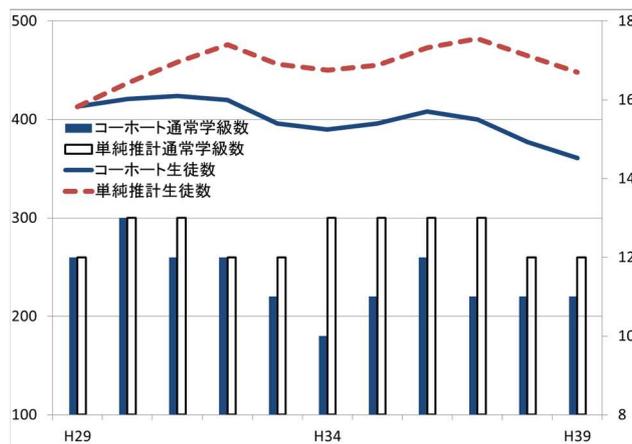
啓西小 児童数及び通常学級数の推計



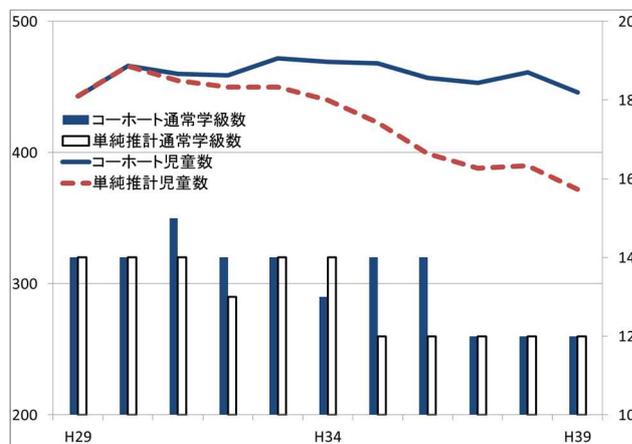
花園小（再掲） 児童数及び通常学級数の推計



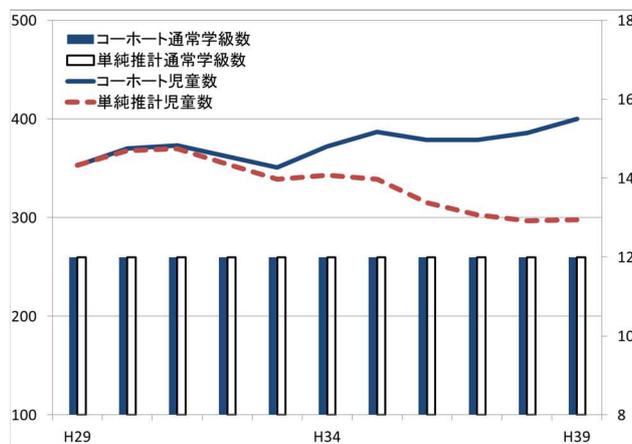
第八中 生徒数及び通常学級数の推計



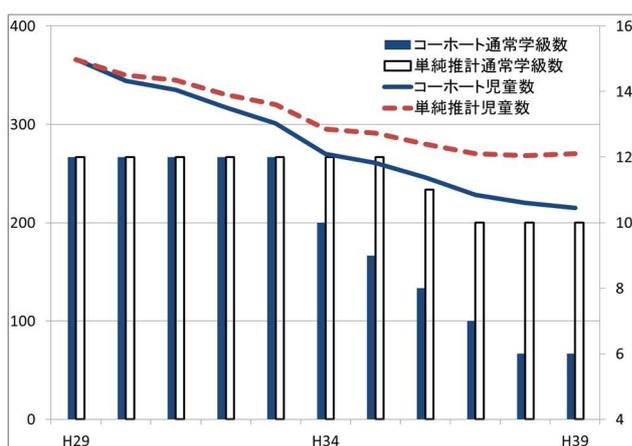
若葉小 児童数及び通常学級数の推計



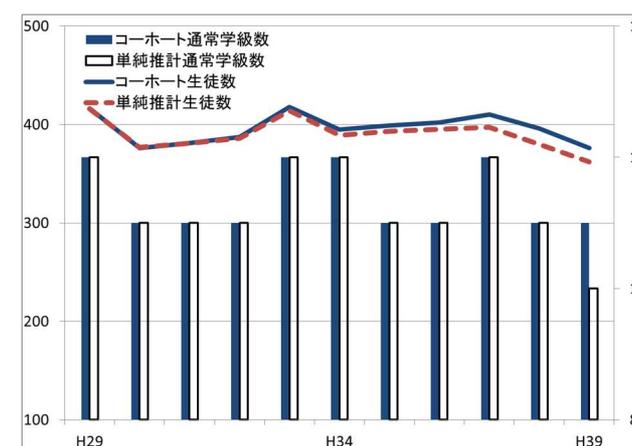
広陽小 児童数及び通常学級数の推計



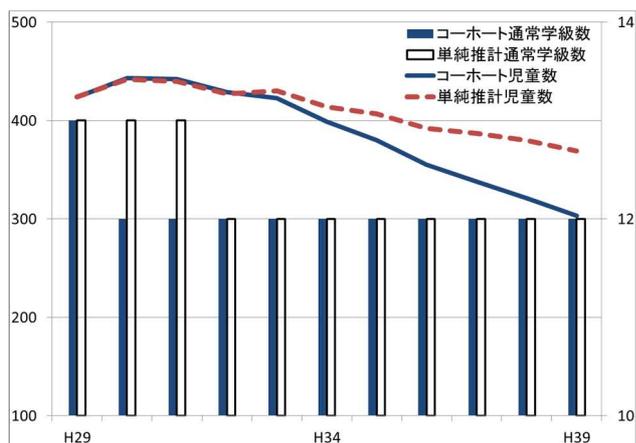
明和小 児童数及び通常学級数の推計



西陵中 生徒数及び通常学級数の推計



栄小（再掲） 児童数及び通常学級数の推計



(3) 教職員の配置状況 (平成 29 年度)

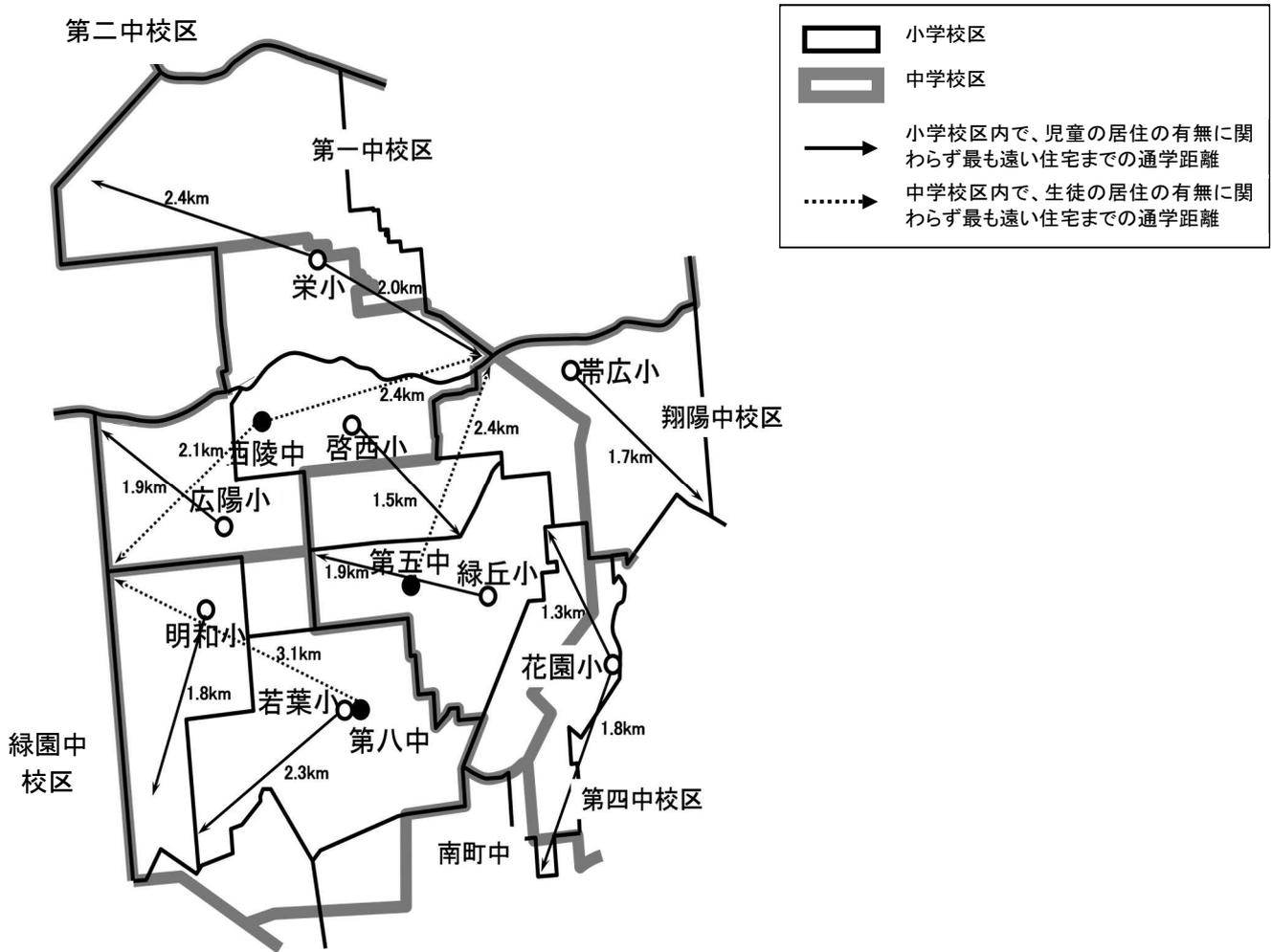
(単位：人)

学校名	教職員配置基準	加配	特別支援学級	栄養教諭	養護教諭	事務職員	合計
第五中	16	3	7	1	1	1	29
帯広小(再掲)	10	6	7	0	1	1	25
緑丘小	19	3	8	0	1	1	32
啓西小	15	3	5	0	1	2	26
花園小(再掲)	9	6	5	0	1	1	22
第八中	22	2.5	7	0	1	1	33.5
若葉小	17	3	7	0	1	1	29
広陽小	15	2	8	0	1	1	27
明和小	15	5	9	0	1	1	31
西陵中	21	3	4	0	1	1	30
栄小(再掲)	15	3	7	1	1	1	28

※教職員配置基準には、校長・教頭含む。 0.5 人工は、再任用の短時間勤務職員。

(4) 通学区域及び通学距離

通学区域と通学距離は、下図のとおりとなっています。第五中、第八中は、一定の条件のもと登下校時の自転車通学を認めています。



(5) 学校と町内会の関係

(平成 30 年 4 月 1 日現在)

中学校	小学校	単位町内会	地区連合町内会
第五中	帯広小	新町東、新町中央、高倉西、西栄（一部）、西伸（一部）、西南部親交（一部）、中央、第一親緑	競馬場連合町内会（一部） 中央西地区連合町内会（一部）
	緑丘小	西栄（一部）、西伸（一部）、若緑、新緑、みどり、12、緑栄、緑栄第一、十五日、緑勝、緑光、南緑、ひまわり、十五、広和、緑友、緑葉、同栄、緑ヶ丘第三、緑親、双葉、むつき、緑ヶ丘さくら、みどり親交、緑むつみ、草園、新栄（一部）、新興、富貴、第一富貴、愛睦、緑西道堂、和交、栄和、五中北、三八東、峰洋、南商第一、新緑むつみ、緑西、緑林、睦、泉、丘の町（一部）、共親、桜町（一部）、北斗、親和東、寿、親和南、親緑、躍進、緑苑、芳園、春駒、春駒西、緑泉、あかしや、あかしや中央（一部）、和泉	競馬場連合町内会（一部） 緑ヶ丘地区連合町内会 春駒連合町内会（一部） むつみ連合町内会 中央西地区連合町内会（一部） 若葉連合町内会（一部）
	啓西小	競馬場、北駒、新栄（一部）、協和、和興、新柏林台、新柏林台北、新柏林台中央、新柏林台南、あやめ	競馬場連合町内会（一部） 春駒連合町内会（一部） 新柏林台連合町内会
	花園小	親交（一部）、丘の町（一部）、月進、桜町（一部）、第三広和、広和第一、広和第二	中央西地区連合町内会（一部）

中学校	小学校	単位町内会	地区連合町内会
第八中	若葉小	商東、美佐和、あかしや中央（一部）、ときわ、緑交、緑南、わか な、南商西、共和第一、共和南、若葉、共和第二親睦、十八緑、 緑明、自由が丘弥生、自由が丘二丁目、自由が丘第一、自由が丘 北都、自由が丘高台、自衛隊西宿舎、大門街（一部）、つくし野	若葉連合町内会（一部） 緑商連合町内会 自由が丘地区連合町内会（一部） 南町連合町内会（一部）
	広陽小	柏南緑、晴見台東、晴見台西、野栄	広陵連合町内会（一部）
	明和小	十九条東、東常盤、西十九緑、西常盤、20条希望、青空、協和 20条、協和南、西20条桜の森、おびひろの森西、西一九、明 和、やまびこ、川東あさがお、川東くろゆり、20条4	西部地区連合町内会 自由が丘地区連合町内会（一部） 広陵連合町内会（一部）
西陵中	啓西小	善友、くるみ、柏林台すすらん、柏林台啓北、東柏林台、パーク サイド、柏林台東町、柏林台学園前、柏林台ひまわり、柏林台北 町第3自治会、北町第二、柏林台北町第一、柏林台北西、JRア パート自治会、柏林台郵政、柏林台中町2丁目、柏林台四一、柏 林台中央団地自治会、柏林台親和、柏西、柏林台啓西、柏林台、 柏林台中央、柏新、柏新第一、柏林台南、柏林台四つ葉、柏林台 第一、やなぎ、東こまどり、西しらかば、啓西第一、こまどり	柏林台連合町内会 広陵連合町内会（一部）
	栄小	西16条新和（一部）、白鳩、第一報和、中帯広東、西17条新 和、中帯広北、中帯広西、柏友（一部）、北星、大和一、大和二、 大和三、大和五、大和六、大和七、報和南、柳華、中帯広南	栄地区連合町内会（一部） やまと連合町内会
	広陽小	弥生、三友東、三友中央、山望北、山望南、山望、37東、三七、 三友西、三七北、静和、広西、啓新、西陵第1、啓和、静光	広陵連合町内会（一部）

(6) 検討課題

地区内の3中学校は、10学級以上で推移していますが、地区内の7小学校のうち、帯広小・啓西小・花園小・明和小は、児童数の減少から通常学級12学級を下回る見込みであることや、地区内の5小学校は、進学先の中学校が複数校となっていることから、適正規模の確保等の検討の検討が必要と考えます。

5 西帯広地区

中学校	第二中学校	中学校区内の小学校	西小学校、つつじが丘小学校
中学校	緑園中学校	中学校区内の小学校	開西小学校、森の里小学校

(1) 学校（学校区）の特徴

第二中	昭和 22 年に開校しました。生徒数の減少傾向のため、通常学級は適正な学校規模を下回る 6 学級になる見込みです。
西 小	明治 31 年帯広小学校伏古分校として開校し、伏古尋常小学校などの改称を経て、昭和 22 年西小学校と改称し現在に至っています。児童数の減少傾向のため、通常学級は適正な学校規模を下回る 6 学級になる見込みです。
つつじが丘小	宅地造成に伴い、開西小の通学区域を一部変更して平成 11 年に分離新設しました。20 代の人口比率が高く、30 代前半の流入から、児童数は横ばいから増加に転じ、通常学級も増加しますが、通常学級は適正な学校規模を下回る 11 学級になる見込みです。
緑園中	西帯広地区の急激な人口増による第二中の過密解消のため、通学区域を一部変更して平成 4 年分離新設しました。生徒数は減少傾向が続き、その後横ばいに推移し、通常学級は適正な学校規模を下回る 8 学級となる見込みです。
開西小	西帯広ニュータウンの住宅団地の造成に伴い、西小から昭和 60 年に分離新設しました。児童数の減少傾向のため、通常学級は適正な学校規模を下回る 6 学級となる見込みです。
森の里小	西帯広ニュータウンの住宅団地の造成に伴い、開西小の通学区域を一部変更して平成 3 年に分離新設しました。児童数は現状で推移しますが、通常学級は適正な学校規模を下回る 10 学級で推移する見込みです。
その他	概ね単位町内会と学校区が一致しています。

(2) 児童生徒数・学級数の推計（平成 29 年 5 月 1 日現在）

コーホート変化率法による推計

(単位:人・学級)

学校名	区 分	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
第二中	生徒数	294	270	257	239	213	225	230	241	211	198	189
	うち通常学級生徒数	273	247	232	224	198	212	218	228	201	187	179
	うち特別支援生徒数	21	23	25	15	15	13	12	13	10	11	10
	学級数	13	12	12	10	8	9	10	10	8	8	8
	うち通常学級数	9	8	8	7	6	7	8	7	6	6	6
	うち特別支援学級数	4	4	4	3	2	2	2	3	2	2	2
西 小	児童数	231	229	211	195	190	173	163	157	163	161	159
	うち通常学級児童数	212	211	195	180	179	163	151	146	152	150	148
	うち特別支援児童数	19	18	16	15	11	10	12	11	11	11	11
	学級数	12	11	11	10	9	8	8	8	8	8	8
	うち通常学級数	9	8	8	7	7	6	6	6	6	6	6
	うち特別支援学級数	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2

学校名	区 分	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
つつじが丘小	児童数	231	220	220	230	234	226	229	240	243	252	271
	うち通常学級児童数	209	197	199	212	215	210	212	223	226	235	253
	うち特別支援児童数	22	23	21	18	19	16	17	17	17	17	18
	学級数	10	10	11	11	10	11	12	12	12	12	14
	うち通常学級数	7	7	8	8	7	8	9	9	9	9	11
	うち特別支援学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
緑園中	生徒数	317	309	306	285	278	254	248	268	283	267	259
	うち通常学級生徒数	292	289	284	266	262	242	237	254	267	251	243
	うち特別支援生徒数	25	20	22	19	16	12	11	14	16	16	16
	学級数	13	13	12	12	12	11	10	11	12	11	11
	うち通常学級数	9	9	9	9	9	8	7	8	9	8	8
	うち特別支援学級数	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3
開西小	児童数	243	257	257	250	246	244	248	232	230	231	228
	うち通常学級児童数	228	241	239	232	229	228	229	214	212	213	210
	うち特別支援児童数	15	16	18	18	17	16	19	18	18	18	18
	学級数	13	12	13	11	10	11	12	10	9	9	9
	うち通常学級数	9	8	9	8	7	8	9	7	6	6	6
	うち特別支援学級数	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3
森の里小	児童数	260	263	259	246	267	262	238	241	237	252	243
	うち通常学級児童数	238	242	239	225	245	242	220	223	220	235	227
	うち特別支援児童数	22	21	20	21	22	20	18	18	17	17	16
	学級数	12	13	13	12	13	13	12	12	12	13	13
	うち通常学級数	9	10	10	9	10	10	9	9	9	10	10
	うち特別支援学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

*参考 単純進行による推計

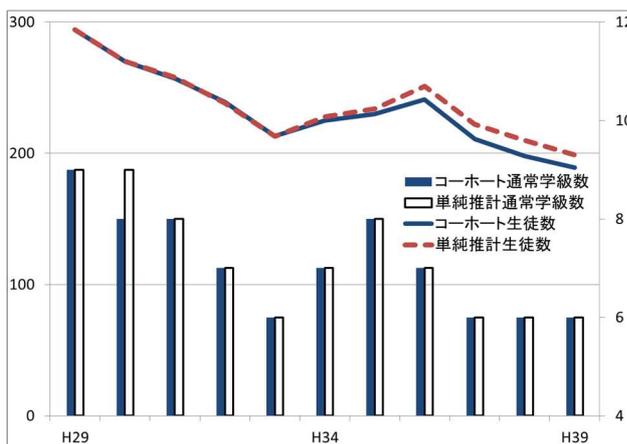
(単位:人・学級)

学校名	区 分	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
第二中	生徒数	294	270	258	238	213	228	234	251	222	210	199
	うち通常学級生徒数	273	247	233	223	198	214	221	237	209	197	188
	うち特別支援生徒数	21	23	25	15	15	14	13	14	13	13	11
	学級数	13	13	12	10	8	10	11	10	9	9	8
	うち通常学級数	9	9	8	7	6	7	8	7	6	6	6
	うち特別支援学級数	4	4	4	3	2	3	3	3	3	3	2
西小	児童数	231	233	220	209	211	202	200	203	219	223	227
	うち通常学級児童数	212	215	203	192	197	188	184	187	202	206	210
	うち特別支援児童数	19	18	17	17	14	14	16	16	17	17	17
	学級数	12	11	11	10	10	9	10	11	11	10	9
	うち通常学級数	9	8	8	7	7	7	7	8	8	7	6
	うち特別支援学級数	3	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3

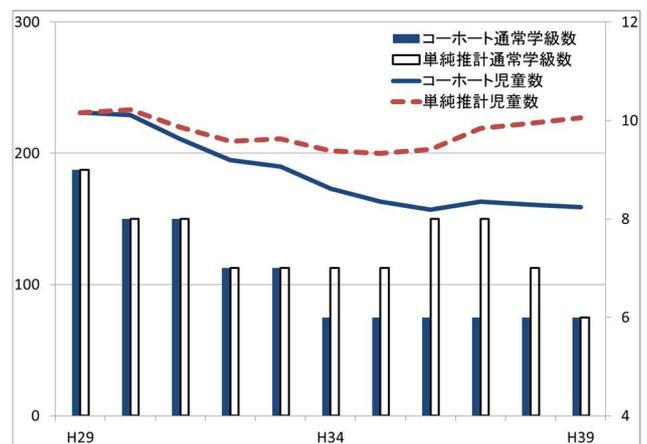
学校名	区 分	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
つつじが丘小	児童数	231	224	222	228	230	214	208	207	200	202	215
	うち通常学級児童数	209	201	201	210	211	198	192	191	184	186	198
	うち特別支援児童数	22	23	21	18	19	16	16	16	16	16	17
	学級数	10	10	11	11	10	10	10	9	9	9	10
	うち通常学級数	7	7	8	8	7	7	7	6	6	6	7
	うち特別支援学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
緑園中	生徒数	317	304	298	275	266	242	234	250	257	236	220
	うち通常学級生徒数	292	284	276	258	252	231	223	236	241	222	207
	うち特別支援生徒数	25	20	22	17	14	11	11	14	16	14	13
	学級数	13	13	12	12	12	11	10	10	11	10	9
	うち通常学級数	9	9	9	9	9	8	7	7	8	7	7
	うち特別支援学級数	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	2
関西小	児童数	243	255	252	240	231	222	217	192	186	183	181
	うち通常学級児童数	228	239	234	222	214	206	199	176	170	168	167
	うち特別支援児童数	15	16	18	18	17	16	18	16	16	15	14
	学級数	13	12	12	10	10	10	10	9	9	9	8
	うち通常学級数	9	8	8	7	7	7	7	6	6	6	6
	うち特別支援学級数	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	2
森の里小	児童数	260	260	251	234	245	235	207	206	201	213	208
	うち通常学級児童数	238	239	231	214	226	218	193	192	187	198	193
	うち特別支援児童数	22	21	20	20	19	17	14	14	14	15	15
	学級数	12	13	13	11	12	12	11	12	12	12	11
	うち通常学級数	9	10	10	8	9	9	8	9	9	9	8
	うち特別支援学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

【参考】

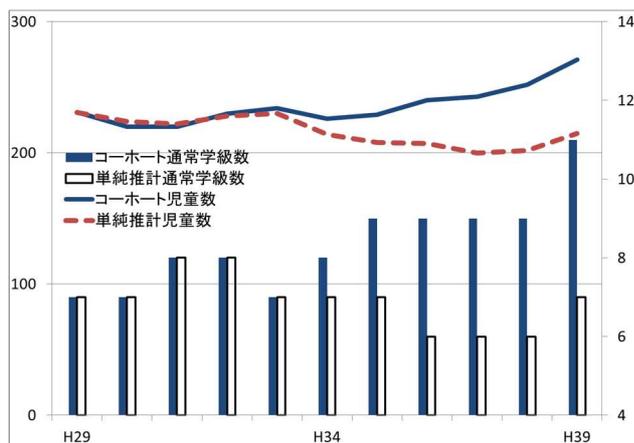
第二中 生徒数及び通常学級数の推計



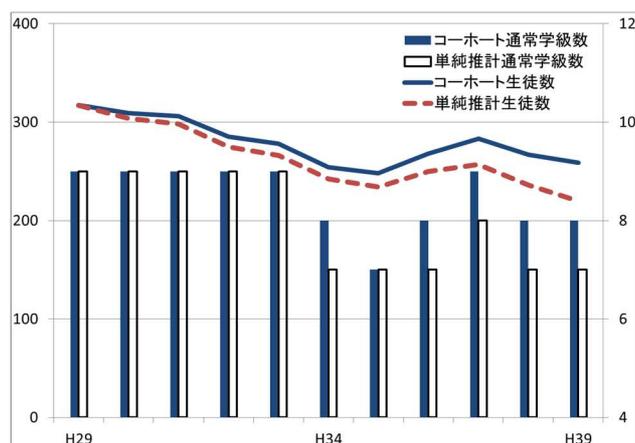
西小 児童数及び通常学級数の推計



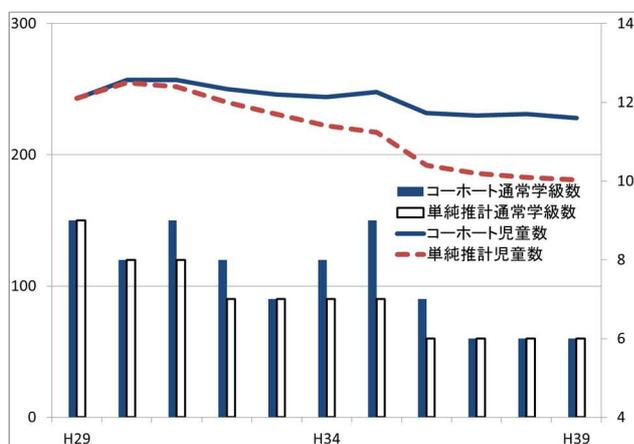
つつじが丘小 児童数及び通常学級数の推計



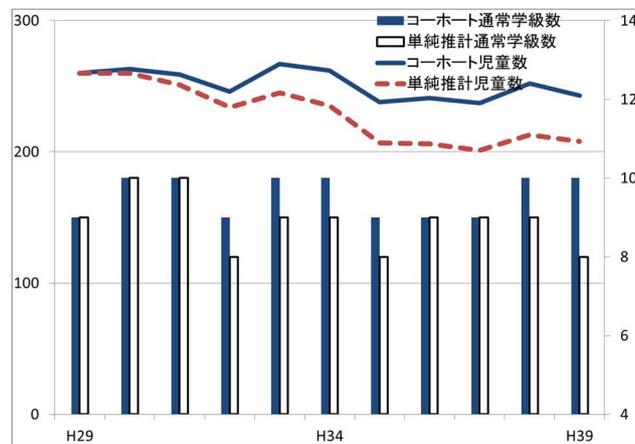
緑園中 生徒数及び通常学級数の推計



開西小 児童数及び通常学級数の推計



森の里小 児童数及び通常学級数の推計



(3) 教職員の配置状況(平成29年度)

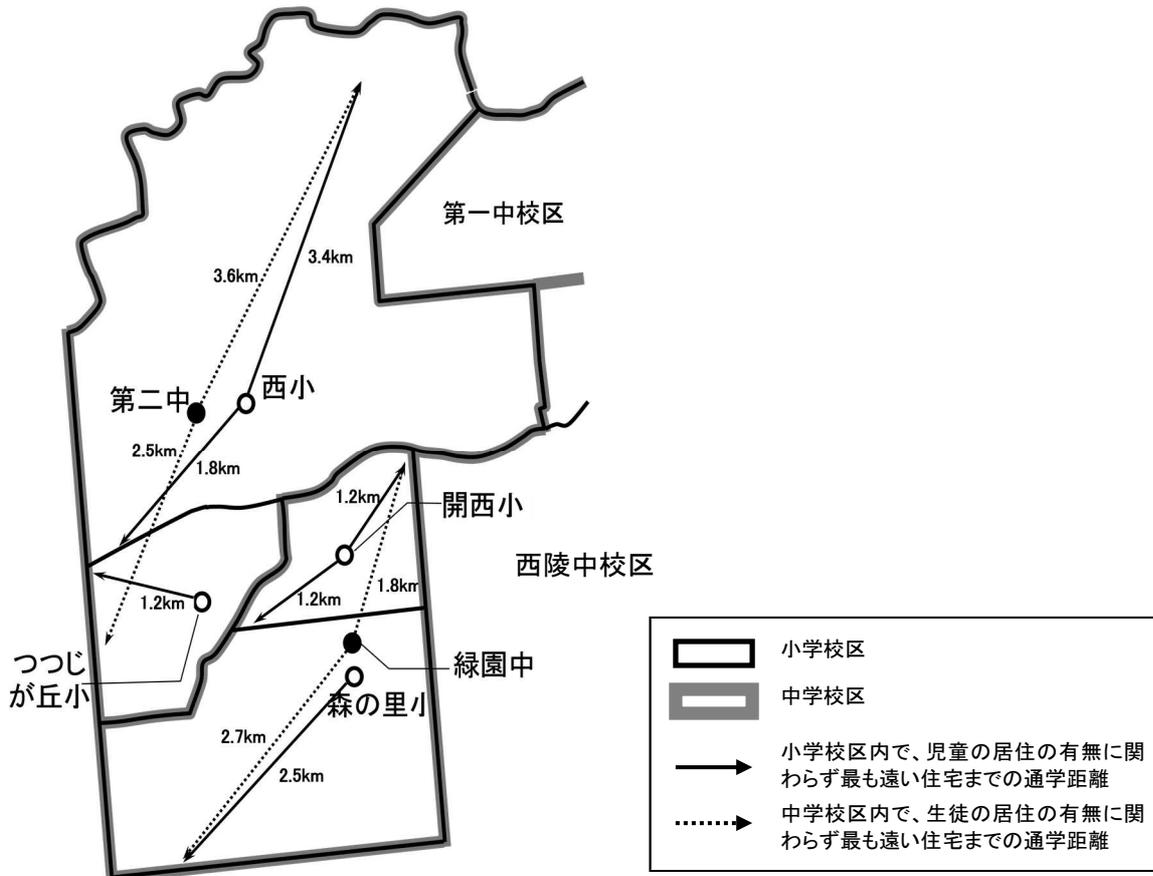
(単位:人)

学校名	教職員配置基準	加配	特別支援学級	栄養教諭	養護教諭	事務職員	合計
第二中	15	2	5	0	1	1	24
西小	11	2	5	0	1	1	20
つつじが丘小	10	1	5	0	1	1	18
緑園中	16	2	5	0	1	1	25
開西小	11	2	6	0	1	1	21
森の里小	12	0	5	0	1	1	19

※教職員配置基準には、校長・教頭含む。

(4) 通学区域及び通学距離

通学区域と通学距離は、下図のとおりとなっています。



(5) 学校と町内会の関係

(平成 30 年 4 月 1 日現在)

中学校	小学校	単位町内会	地区連合町内会
第二中	西小	西11号つくし、西帯広親睦、西帯広中央、津田の森、西帯広南町、道営ひまわり、西14号団地、事業団帯広宿舍自治会、十五号、西13号、大成宿舍自治会、あけぼの、西の森、ヒルデス25、西交友、32区共正	西帯広連合町内会 (一部)
	つつじが丘小	三条高校西、みすみ、のぞみ、柳橋、共愛、タウン24、つつじ24、リバーサイド24、ふれあい、新西、フリートピア25、つつじ、ウエスト25、36区 (一部)	西帯広連合町内会 (一部)
緑園中	開西小	工栄、西21新興、西21条若菜、開西ひがし、開西35区、開西、開明、緑園西、かえで、おふね、新緑第2団地自治会	西帯広ニュータウン連合町内会 (一部)
	森の里小	36区 (一部)、ニュータウン自治会、とりで、アルバータ通り、新緑、新緑南、森の里東、開西中央、森の里、西中島通り、星の森、ポテト、ふしこ	西帯広連合町内会 (一部) 西帯広ニュータウン連合町内会 (一部)

(6) 検討課題

地区内の2中学校は、生徒数の減少から通常学級9学級を下回る見込みであり、また地区内の3小学校は通常学級12学級を下回る見込みであることや、栄小は、進学先の中学校が複数校となっていることから、適正規模の確保等の検討が必要と考えます。

6 南地区

中学校	大空中学校	中学校区内の小学校	大空小学校
中学校	南町中学校	中学校区内の小学校	稲田小学校、豊成小学校、花園小学校の一部、(川西小学校の一部)

(1) 学校(学校区)の特徴

大空中	南帯広住宅団地(大空)開発事業に伴い、第四中から昭和49年に分離新設しました。また、平成6年度に南町中の通学区域を一部変更して編入しました。大空小の小規模化に伴い、生徒数は減少し、通常学級は適正な学校規模の基準を下回る5学級で推移する見込みです。
大空小	南帯広住宅団地(大空)開発事業に伴い、稲田小から昭和45年に分離新設しました。また、平成6年度に稲田小の通学区域を一部変更して編入しました。児童数は減少傾向にあり、通常学級は適正な学校規模の基準を下回る6学級になる見込みです。
南町中	第四中の大規模化解消のため、昭和50年に分離新設しました。清流地区の住宅建設に伴い、当面生徒数は増加するもの、宅地販売終了後は生徒数が減少する見込みですが、通常学級は17学級以上で推移する見込みです。清流地区の一部は、区域外通学許可を申請することで、南町中に通学することができます。
稲田小	昭和3年に稲田尋常小学校として開校し、昭和22年川西村立稲田小学校などの改称を経て、昭和32年市町村合併により帯広市立稲田小学校と改称し現在に至っています。20代後半の流入による未就学児の流入や宅地販売により、児童数の増加が見込まれ、通常学級も増加し17学級以上で推移する見込みです。
豊成小	昭和44年に稲田小から分離新設しました。清流地区の宅地販売終了後、児童数は減少に転じることから通常学級は減少し15学級になる見込みです。平成24年度に通学区域の一部を明星小に編入。清流地区の一部は、区域外通学許可を申請することで、豊成小に通学することができます。
花園小(再掲)	公園東町区域における住宅団地開発事業の進展に伴い、明星小、緑丘小、稲田小から昭和57年に分離新設しました。児童数は現在より増加で推移しますが、通常学級は適正な学校規模の基準を下回る7~8学級程度で推移する見込みです。中学校への進学は、第四中、第五中、南町中に分散しています。
その他	小学校区を帯広の森通、機関庫の川、稲田町基線線などで分けているため、分断されている単位町内会があります。

(2) 児童生徒数・学級数の推計(平成29年5月1日現在)

コーホート変化率法による推計

(単位:人・学級)

学校名	区分	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
大空中	生徒数	185	162	184	172	165	142	132	133	131	140	127
	うち通常学級生徒数	175	152	169	157	148	132	125	127	124	131	119
	うち特別支援生徒数	10	10	15	15	17	10	7	6	7	9	8
	学級数	8	8	9	8	9	7	7	7	7	8	7
	うち通常学級数	6	6	6	6	6	5	5	5	5	6	5
	うち特別支援学級数	2	2	3	2	3	2	2	2	2	2	2
大空小	児童数	319	323	303	301	289	273	266	254	239	224	223
	うち通常学級児童数	297	299	284	282	273	255	246	235	220	206	205
	うち特別支援児童数	22	24	19	19	16	18	20	19	19	18	18
	学級数	16	16	15	14	14	13	12	12	12	9	9
	うち通常学級数	12	12	12	11	11	10	9	9	9	6	6
	うち特別支援学級数	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3

学校名	区 分	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
南町中	生徒数	626	668	651	656	641	630	660	653	686	641	652
	うち通常学級生徒数	599	635	612	618	603	593	621	615	645	603	613
	うち特別支援生徒数	27	33	39	38	38	37	39	38	41	38	39
	学級数	22	23	23	23	23	22	24	22	25	23	24
	うち通常学級数	17	18	17	17	17	17	18	17	19	18	18
	うち特別支援学級数	5	5	6	6	6	5	6	5	6	5	6
稲田小	児童数	558	540	567	571	585	615	626	634	628	645	661
	うち通常学級児童数	530	516	538	537	548	573	582	590	584	600	614
	うち特別支援児童数	28	24	29	34	37	42	44	44	44	45	47
	学級数	23	21	22	23	24	25	25	24	24	24	26
	うち通常学級数	18	17	17	18	18	19	19	18	18	18	19
	うち特別支援学級数	5	4	5	5	6	6	6	6	6	6	7
豊成小	児童数	732	746	748	738	752	757	711	677	638	601	519
	うち通常学級児童数	690	702	698	691	703	703	660	629	593	558	484
	うち特別支援児童数	42	44	50	47	49	54	51	48	45	43	35
	学級数	28	28	29	28	28	29	27	26	25	24	20
	うち通常学級数	21	21	22	21	20	21	20	19	19	18	15
	うち特別支援学級数	7	7	7	7	8	8	7	7	6	6	5
花園小 (再掲)	児童数	195	210	212	224	218	229	241	239	236	229	233
	うち通常学級児童数	172	185	188	201	196	210	223	222	219	212	215
	うち特別支援児童数	23	25	24	23	22	19	18	17	17	17	18
	学級数	10	11	11	11	10	11	11	12	11	11	10
	うち通常学級数	6	7	7	8	7	8	8	9	8	8	7
	うち特別支援学級数	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3

*参考 単純進行による推計

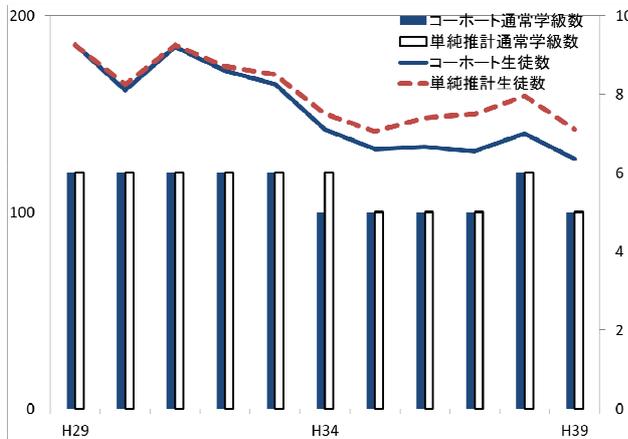
(単位:人・学級)

学校名	区 分	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
大空中	生徒数	185	165	185	174	170	150	141	148	150	159	142
	うち通常学級生徒数	175	154	174	164	160	141	132	139	141	150	134
	うち特別支援生徒数	10	11	11	10	10	9	9	9	9	9	8
	学級数	8	8	8	8	8	8	7	7	7	8	7
	うち通常学級数	6	6	6	6	6	6	5	5	5	6	5
	うち特別支援学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
大空小	児童数	319	325	307	304	292	278	270	253	239	226	226
	うち通常学級児童数	297	301	288	286	275	260	250	234	221	208	208
	うち特別支援児童数	22	24	19	18	17	18	20	19	18	18	18
	学級数	16	16	15	15	14	14	13	11	11	10	9
	うち通常学級数	12	12	12	12	11	11	10	8	8	7	6
	うち特別支援学級数	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3
南町中	生徒数	626	668	653	659	648	637	670	665	698	648	655
	うち通常学級生徒数	599	635	614	621	610	600	631	627	657	610	616
	うち特別支援生徒数	27	33	39	38	38	37	39	38	41	38	39
	学級数	22	23	23	23	23	22	24	23	25	23	24
	うち通常学級数	17	18	17	17	17	17	18	18	19	18	18
	うち特別支援学級数	5	5	6	6	6	5	6	5	6	5	6

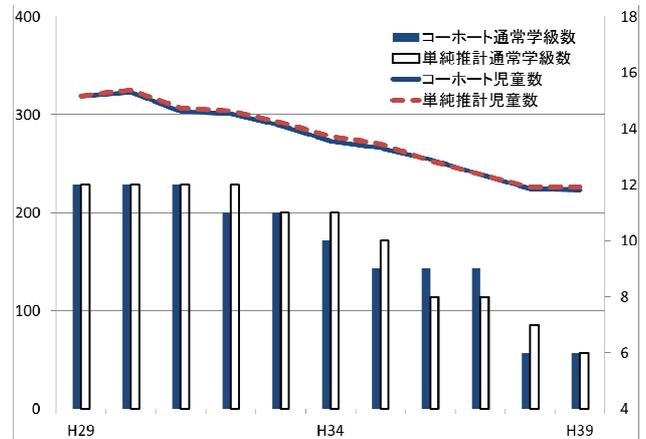
学校名	区 分	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
稲田小	児童数	558	538	559	552	551	559	551	547	539	565	594
	うち通常学級児童数	530	514	530	519	516	521	512	508	500	525	551
	うち特別支援児童数	28	24	29	33	35	38	39	39	39	40	43
	学級数	23	21	23	23	23	23	22	22	21	22	24
	うち通常学級数	18	17	18	18	18	17	16	16	15	16	18
	うち特別支援学級数	5	4	5	5	5	6	6	6	6	6	6
豊成小	児童数	732	749	748	741	751	763	714	682	643	607	529
	うち通常学級児童数	690	705	698	694	702	709	663	634	598	564	492
	うち特別支援児童数	42	44	50	47	49	54	51	48	45	43	37
	学級数	28	28	29	28	28	29	27	26	25	24	21
	うち通常学級数	21	21	22	21	20	21	20	19	19	18	15
	うち特別支援学級数	7	7	7	7	8	8	7	7	6	6	6
花園小 (再掲)	児童数	195	214	220	234	232	245	252	247	237	224	224
	うち通常学級児童数	172	189	196	211	210	226	235	230	220	207	207
	うち特別支援児童数	23	25	24	23	22	19	17	17	17	17	17
	学級数	10	11	12	11	10	11	12	12	12	11	11
	うち通常学級数	6	7	8	8	7	8	9	9	9	8	8
	うち特別支援学級数	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3

【参考】

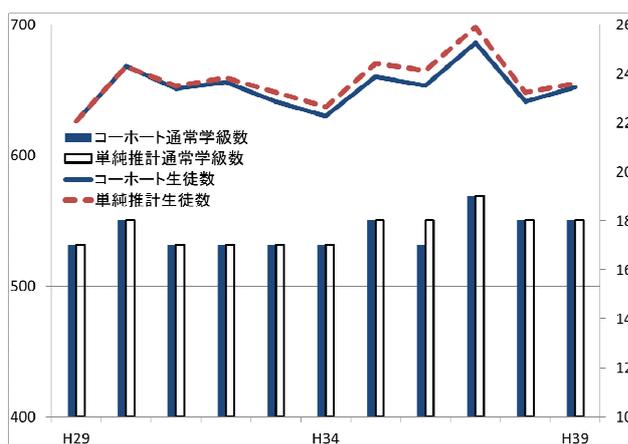
大空中 生徒数及び通常学級数の推計



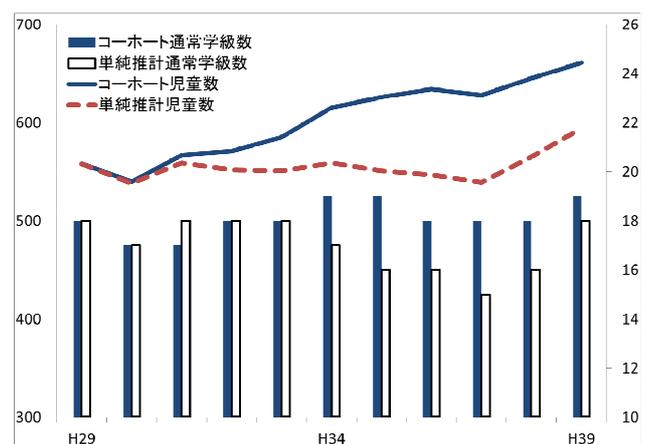
大空小 児童数及び通常学級数の推計



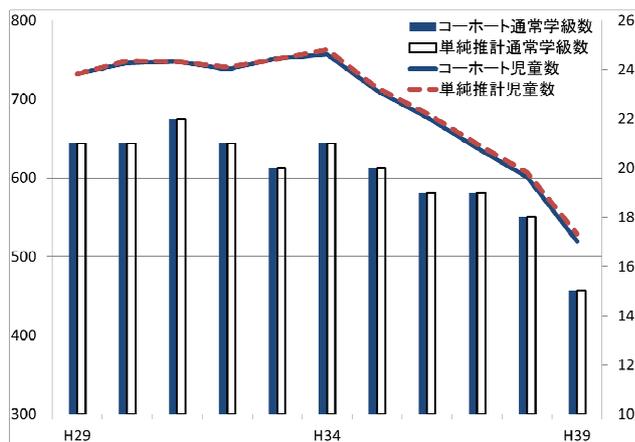
南町中 生徒数及び通常学級数の推計



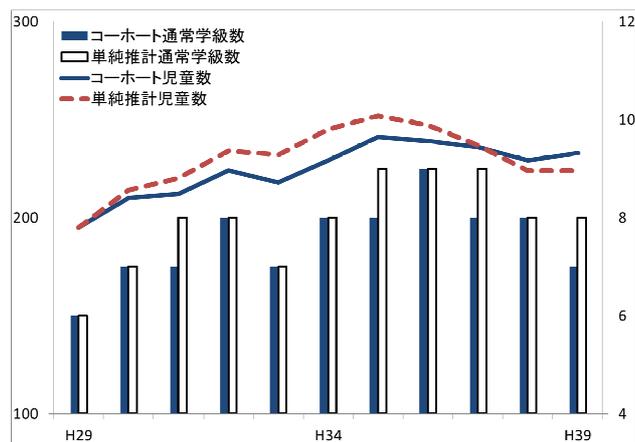
稲田小 児童数及び通常学級数の推計



豊成小 児童数及び通常学級数の推計



花園小(再掲) 児童数及び通常学級数の推計



(3) 教職員の配置状況(平成 29 年度)

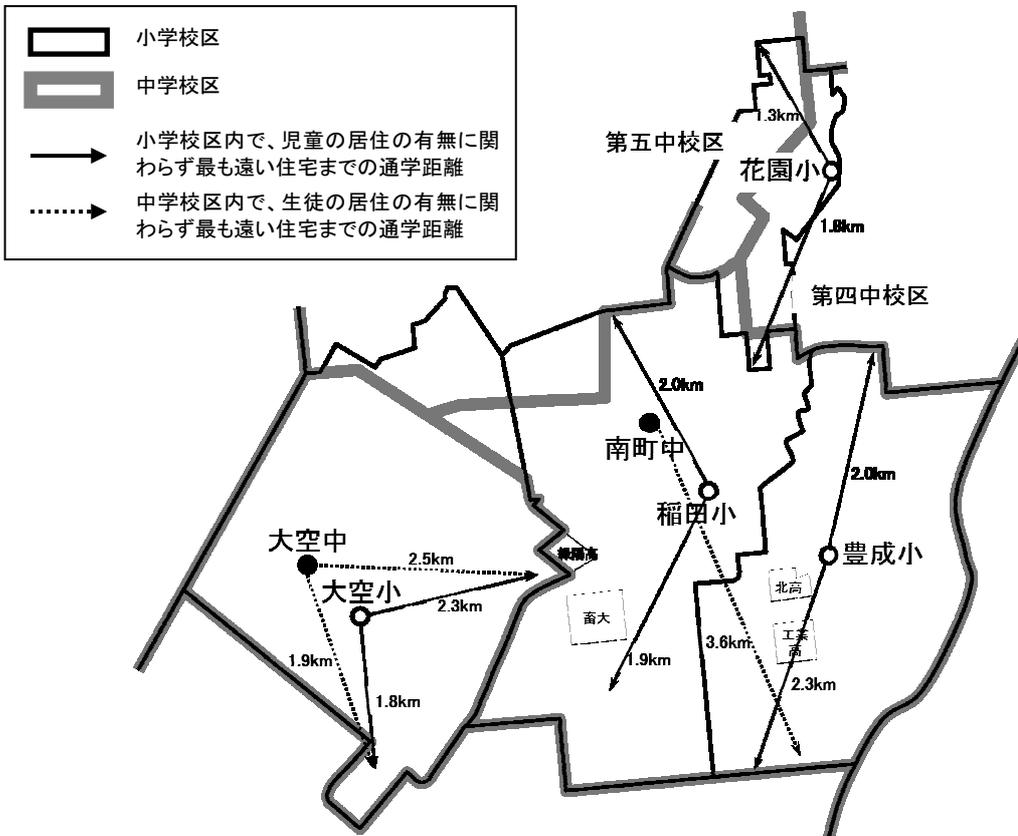
(単位:人)

学校名	教職員配置基準	加配	特別支援学級	栄養教諭	養護教諭	事務職員	合計
大空中	11	1	4	1	1	1	19
大空小	15	1	7	0	1	1	25
南町中	27	6	6	0	2	3	44
稲田小	21	7.5	7	1	2	1	39.5
豊成小	24	4.5	9	0	1	2	40.5
花園小(再掲)	9	6	5	0	1	1	22

※教職員配置基準には、校長・教頭含む。 0.5人工は、再任用の短時間勤務職員。

(4) 通学区域及び通学距離

通学区域と通学距離は、下図のとおりとなっています。大空中、南町中は、一定の条件のもと登下校時の自転車通学を認めています。



(5) 学校と町内会の関係

(平成 30 年 4 月 1 日現在)

中学校	小学校	単位町内会	地区連合町内会
大空中	大空小	大空町第1、大空町第2、大空第三、大空町第4、大空町第5、大空町第6、大空町第7、大空町第8、大空町第9、大空町第10、大空町第12、大空町第13、大空第14、大空町第15、大空町第16、大空町第17、大空町第18、大空町第19、大空町第22、大空町第23、大空町第24、大空町第25、大空町第26、大空町第27、大空町第28、大空町第29、大空町第32、大空町第33、大空町第34、大空町第35、大空町第36、大空町第37、大空町第38、大空町第39自治会、大空町第41、大空町第43、ほのほの(一部)、みなみ野緑親、緑陽高校南、南の森西七、空港第一、帯広の森、南の森暁、拓進(一部)、東別府、帯広刑務所宿舎	大空町連合自治会 南の森連合町内会(一部)
南町中	稲田小	日甜(一部)、緑風、緑山(一部)、せせらぎ、松南、豊丘、南町南ヶ丘、公南、自衛隊東宿舎、別府団地、南町中央、東共栄、帯広工業高校、稲田団地自治会、稲田団地1号棟自治会、大門街(一部)、新栄、栄団地、南栄、黒宮、善隣、松竹、豊陽、南町南、りんどう、春光、西春光、みなみ野、新弥生、南花園、稲田、ひじり西(一部)、農校前東、進興、みなみ野学園通り、新駒翠、美朝、駒翠、帯広農業高校、みなみ野北、みなみ野中央、ほのほの(一部)、拓進(一部)	豊成連合町内会(一部) 緑栄連合町内会(一部) 南町連合町内会(一部) 稲田地区連合町内会(一部) 南の森連合町内会(一部)
	豊成小	下稲田東、下稲田、南新和、工場前、日甜(一部)、新稲田いずみ、稲田中央、清流の里北、上稲田、ひじり東、ひじり西(一部)、稲豊、清流の里東、清流の里西、清流の里中央、清流まなび野、ぽっぽ橋、機関庫の川公園南	豊成連合町内会(一部) 稲田地区連合町内会(一部)
	花園小	緑山(一部)、緑生、新緑生	緑栄連合町内会(一部) 南町連合町内会(一部)

(6) 区域外通学が認められている住所

住所	本来の校区	区域外通学が認められる校区
清流東1～3丁目、清流西1～3丁目	豊成小、南町中	川西小、川西中
清流東4丁目、清流西4丁目	川西小、川西中	豊成小、南町中

(7) 検討課題

児童生徒の減少のため、大空小は平成32年度以降通常学級12学級を、大空中は今後も通常学級9学級を下回る見込みであることや、花園小は進学先の中学校が複数校となっていることから、適正規模の確保等の検討が必要と考えます。

7 農村地域

中学校	第七中学校	中学校区内の小学校	大正小学校、愛国小学校
中学校	川西中学校	中学校区内の小学校	川西小学校、(豊成小学校の一部)
中学校	清川中学校	中学校区内の小学校	清川小学校
中学校	八千代中学校	中学校区内の小学校	広野小学校

(1) 学校(学校区)の特徴

第七中	昭和40年に大正中・愛国中・似平中・上似平中・戸蔦中を統合して開校しました。生徒数の減少傾向が続くものの、通常学級3学級を維持する見込みです。
大正小	昭和47年に旧大正小・旧似平小を統合して開校し、昭和49年泉小と統合し現在に至っています。児童数の減少傾向が続くものの、通常学級6学級で推移する見込みです。
愛国小	明治37年に私立幸震家庭教授所として創立し、大正村立愛国小学校などの改称を経て、昭和32年帯広市立愛国小学校と改称し現在に至っています。また、平成20年10月に小規模特認校に指定し、これまで13名の児童が通学しています(現在3名通学)。児童数は、緩やかに減少となる見込みです。昭和43年度に複式学級となり、翌年度単式学級になりましたが、昭和45年度から複式学級となり、今後も続く見込みです。
川西中	昭和22年に川西村立川西小学校に併置して川西中学校として開校しました、昭和24年別府中と統合、昭和32年帯広市立川西中学校と改称し、昭和54年上帯広中と統合し現在に至っています。清流地区を中心に一時的に生徒数が増加するものの、宅地販売終了後は減少に転じる見込みのため、通常学級は3学級で推移する見込みです。清流地区の一部は、区域外通学許可を申請することで、川西中に通学することができます。
川西小	昭和54年に旧川西小・別府小・富士小・上帯広小を統合して開校しました。清流地区を中心に一時的に児童数が増加するものの、宅地販売終了後は減少に転じる見込みのため。通常学級は7学級から6学級で推移する見込みです。清流地区の一部は、区域外通学許可を申請することで、川西小に通学することができます。
清川中	昭和22年に川西村立清川小学校に併置して清川中学校として開校しました。昭和26年太平中の一部と統合、昭和32年市町村合併により帯広市立清川中学校と改称し、昭和55年岩内中と統合し現在に至っています。生徒数は、一時的に増加するものの、緩やかに減少するものの、通常学級は3学級で推移する見込みです。
清川小	昭和41年に太平小・美栄小・上清川小・旧清川小を統合し開校し、昭和55年岩内小を統合し現在に至っています。また、平成17年10月に小規模特認校に指定し、これまで6名の児童が通学しています(現在1名通学)。児童数は緩やかな減少傾向にあり、平成33年度から複式学級になる見込みです。
八千代中	昭和27年に旧広野中、旧八千代中を統合して川西村立広野中学校として開校しました、昭和28年川西村立八千代中学校と改称し、昭和32年市町村合併により帯広市立八千代中学校と改称し現在に至っています。生徒数は、一時的に増加するものの、その後減少する見込みです。平成29・30年度基準上の複式学級となり、その後単式学級となるもの、平成36年度から複式学級となる見込みです。
広野小	昭和50年に旧広野小・八千代小・拓成小を統合して開校しました。児童数は、緩やかに減少となる見込みです。昭和59年から複式学級となり、今後も続く見込みです。
学校共通	通学距離が長い場合、スクールバスや路線バスの活用し児童生徒の負担の軽減を図っています。
その他	太平町内会や戸蔦町内会を除き単位町内会と学校区が一致しています。

(2) 児童生徒数・学級数の推計(平成29年5月1日現在)

コーホート変化率法による推計

(単位:人・学級)

学校名	区分	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
第七中	生徒数	79	76	71	64	66	70	66	68	67	74	80
	うち通常学級生徒数	76	72	67	59	61	64	61	63	63	69	75
	うち特別支援生徒数	3	4	4	5	5	6	5	5	4	5	5
	学級数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	うち通常学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	うち特別支援学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
大正小	児童数	106	113	116	117	124	118	124	112	104	99	83
	うち通常学級児童数	100	106	108	109	115	111	115	104	96	91	76
	うち特別支援児童数	6	7	8	8	9	7	9	8	8	8	7
	学級数	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
	うち通常学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	うち特別支援学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
愛国小	児童数	27	25	24	24	23	22	22	22	22	20	19
	うち通常学級児童数	27	25	24	24	23	22	22	22	22	20	19
	うち特別支援児童数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	学級数	3	3	3	4	4	3	3	3	3	3	3
	うち通常学級数	3	3	3	4	4	3	3	3	3	3	3
	うち特別支援学級数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川西中	生徒数	75	77	64	63	65	75	82	90	106	107	113
	うち通常学級生徒数	70	74	61	60	61	71	78	86	100	100	106
	うち特別支援生徒数	5	3	3	3	4	4	4	4	6	7	7
	学級数	5	5	5	4	5	5	5	5	5	5	5
	うち通常学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	うち特別支援学級数	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2
川西小	児童数	145	154	178	186	199	206	214	211	195	186	170
	うち通常学級児童数	141	148	169	174	185	190	196	194	179	171	157
	うち特別支援児童数	4	6	9	12	14	16	18	17	16	15	13
	学級数	8	8	9	9	9	9	10	10	9	9	8
	うち通常学級数	6	6	7	7	6	6	7	7	6	6	6
	うち特別支援学級数	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	2
清川中	生徒数	22	25	26	32	32	37	34	34	29	22	21
	うち通常学級生徒数	17	21	24	30	31	36	34	34	29	22	21
	うち特別支援生徒数	5	4	2	2	1	1	0	0	0	0	0
	学級数	5	5	4	5	4	4	3	3	3	3	3
	うち通常学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	うち特別支援学級数	2	2	1	2	1	1	0	0	0	0	0
清川小	児童数	71	70	70	59	58	50	43	39	35	34	30
	うち通常学級児童数	65	65	65	54	55	48	43	39	35	34	30
	うち特別支援児童数	6	5	5	5	3	2	0	0	0	0	0
	学級数	8	7	7	7	6	6	4	4	4	3	3
	うち通常学級数	6	6	6	6	5	5	4	4	4	3	3
	うち特別支援学級数	2	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0

学校名	区 分	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
八千代中	生徒数	14	15	16	25	18	25	17	19	12	13	12
	うち通常学級生徒数	12	14	15	25	17	24	16	19	12	13	12
	うち特別支援生徒数	2	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0
	学級数	4 (3)	3	4	3	3	3	3	2	2	2	2
	うち通常学級数	3 (2)	2	3	3	2	2	2	2	2	2	2
	うち特別支援学級数	1	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0
広野小	児童数	38	34	34	28	29	22	28	28	27	24	25
	うち通常学級児童数	35	31	31	27	29	22	28	28	27	24	25
	うち特別支援児童数	3	3	3	1	0	0	0	0	0	0	0
	学級数	6	5	5	4	3	3	4	4	3	3	3
	うち通常学級数	4	3	3	3	3	3	4	4	3	3	3
	うち特別支援学級数	2	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0

※川西中・川西小以外は、単純進行により推計しています。

※八千代中に係るH29列中の学級の（ ）書きは、北海道教育委員会が定めた義務教育諸学校学級編制基準の学級数を表示。

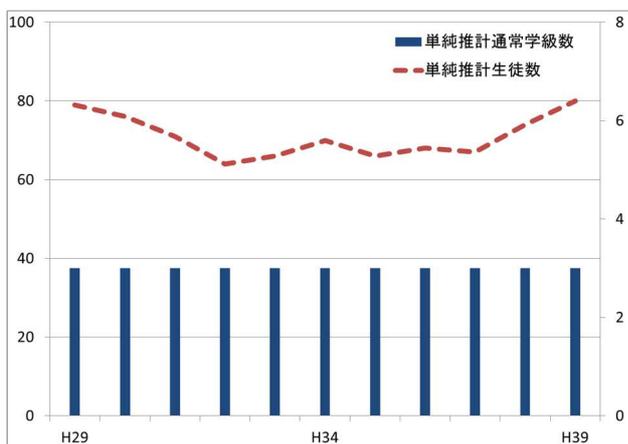
*参考 単純進行による推計

(単位:人・学級)

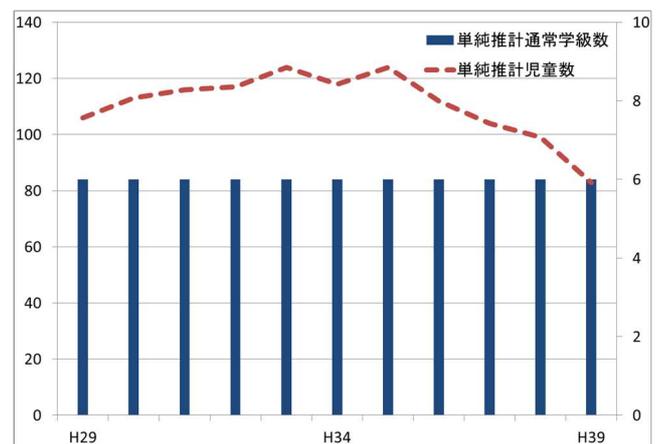
学校名	区 分	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
川西中	生徒数	75	77	63	63	65	75	82	89	103	104	109
	うち通常学級生徒数	70	74	60	60	61	71	78	85	97	97	102
	うち特別支援生徒数	5	3	3	3	4	4	4	4	6	7	7
	学級数	5	5	5	4	5	5	5	5	5	5	5
	うち通常学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	うち特別支援学級数	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2
川西小	児童数	145	154	178	186	198	205	213	209	192	182	166
	うち通常学級児童数	141	148	169	174	184	189	195	192	176	168	154
	うち特別支援児童数	4	6	9	12	14	16	18	17	16	14	12
	学級数	8	8	9	9	9	9	10	10	9	9	8
	うち通常学級数	6	6	7	7	6	6	7	7	6	6	6
	うち特別支援学級数	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	2

【参考】

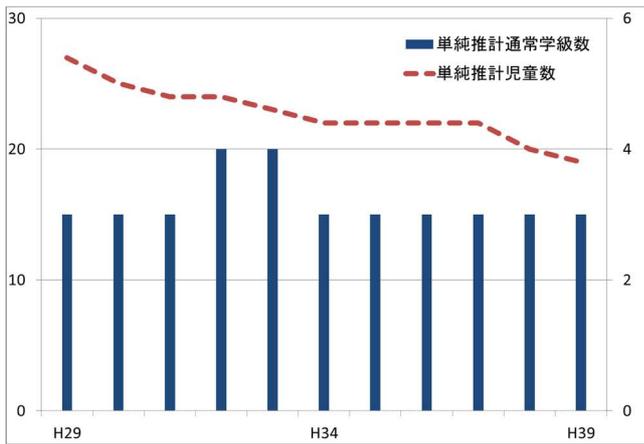
第七中 生徒数及び通常学級数の推計



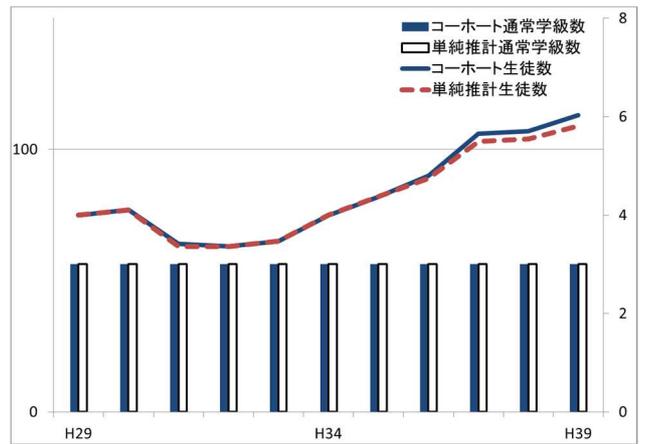
大正小 児童数及び通常学級数の推計



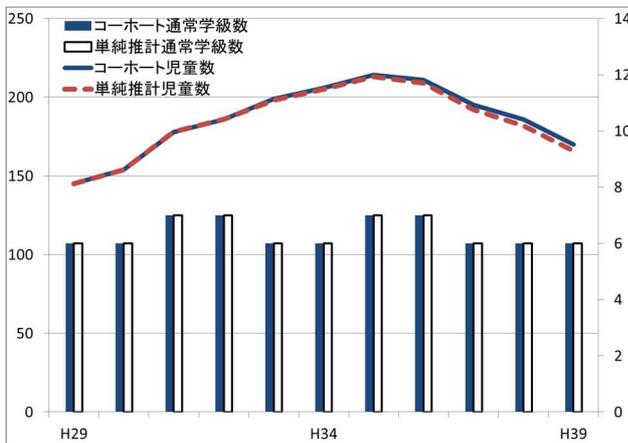
愛国小 児童数及び通常学級数の推計



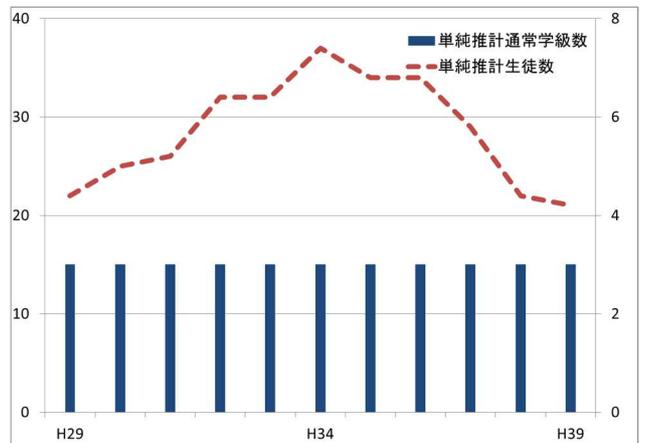
川西中 生徒数及び通常学級数の推計



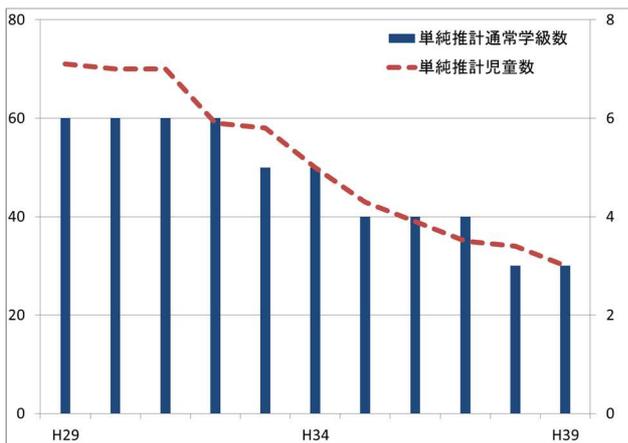
川西小 児童数及び通常学級数の推計



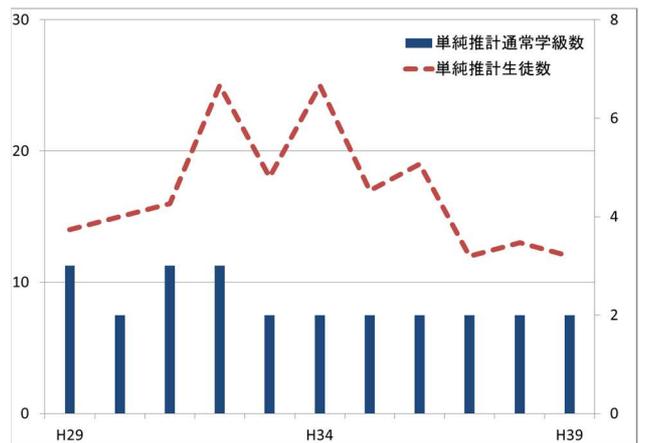
清川中 生徒数及び通常学級数の推計



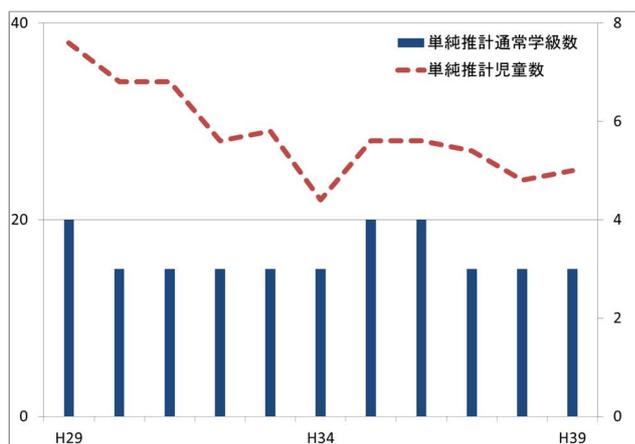
清川小 児童数及び通常学級数の推計



八千代中 生徒数及び通常学級数の推計



広野小 児童数及び通常学級数の推計



(3) 教職員の配置状況 (平成 29 年度)

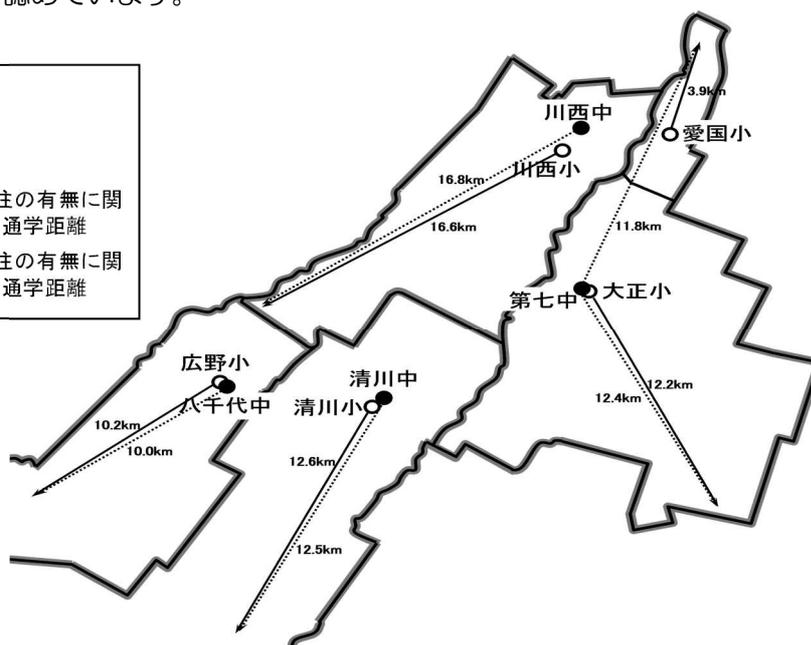
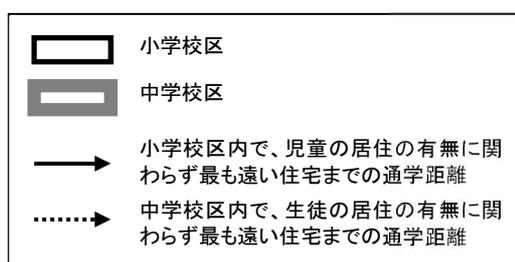
(単位：人)

学校名	教職員配置基準	加配	特別支援学級	養護教諭	事務職員	合計
第七中	9	0	3	1	1	14
大正小	8	0	2	1	1	12
愛国小	5	0	0	1	1	7
川西中	9	0	3	1	1	14
川西小	9	1	2	1	1	14
清川中	9	0	3	1	1	14
清川小	8	0	2	1	1	12
八千代中	6	1	1	1	0	9
広野小	6	0	2	1	1	10

※教職員配置基準には、校長・教頭含む。

(4) 通学区域及び通学距離

通学区域と通学距離は、下図のとおりとなっています。また、スクールバスの運行や路線バスの利用により通学の負担を軽減しています。大正小、愛国小、川西中、清川中、八千代中、第七中は、一定の条件のもと登下校時の自転車通学を認めています。



(5) 学校と町内会の関係

(平成 30 年 4 月 1 日現在)

中学校	小学校	単位町内会	地区連合町内会
第七中	大正小	桜木町東、桜木町西、桜木町南、桜木町北、昭和町東、昭和町越前、東和、大正町加賀、大正町幸一、昭和町親幸、大正本町第一、大正本町第二、大正本町第三、大正本町第四、幸福、種苗管理センター十勝農場、以平東、以平第二、以平第三、睦、中島町戸鶯、中島町中戸鶯、上以平、大和	桜木連合町内会 昭和町連合町内会 大正市街地連合町内会 大正連合町内会 幸福連合町内会 以平連合町内会 中島連合町内会 泉連合町内会
	愛国小	愛国、愛国南、北愛国	愛国町連合町内会
川西中	川西小	川西、北川西、下川西、南川西、中川西、新川西、新生、清流ハヤブサ、東豊西、西豊西、本豊西、南豊西、別府、中別府、中富士、西富士、東富士、南富士、南基松、北基松、上帯広市街、北上帯広、東上帯広、南上帯広	川西連合町内会 豊西連合町内会 別府連合町内会 富士連合町内会 基松連合町内会 上帯広地域連合町内会
清川中	清川小	東清川、清川、中清川、上清川、日甜清川農場、東美栄、西美栄、太平（一部）、戸鶯（一部）	清川地区連合町内会（一部）
八千代中	広野小	北広野、南広野、広野市街、北八千代、中八千代、八千代、拓成、太平（一部）、戸鶯（一部）	八広地域連合町内会 清川地区連合町内会（一部）

(6) 区域外通学が認められている住所

住所	本来の校区	区域外通学が認められる校区
清流東 4 丁目、清流西 4 丁目	川西小、川西中	豊成小、南町中
清流東 1～3 丁目、清流西 1～3 丁目	豊成小、南町中	川西小、川西中

(7) 検討課題

清流地区の影響から川西小は、児童数が増加しその後減少に転じますが、川西中は、川西小の児童数の増加の影響から計画期間内の生徒数は増加傾向にあります。川西小・川西中以外の校区では児童生徒数の減少のため、愛国小、広野小のほか、将来的に清川小、八千代中が新たに複式学級になる見込みであり、適正規模の確保等の検討が必要と考えます。

意見交換会等の開催状況と主な意見

1 計画原案に関する意見交換会等の開催状況

開催日等	会場	参加者数
平成 29 年 9 月 26 日 (火)	帯広小学校	11 名
9 月 27 日 (水)	西小学校	6 名
9 月 28 日 (木)	愛国小学校	16 名
9 月 29 日 (金)	清川小学校	6 名
10 月 5 日 (木)	八千代中学校	18 名
10 月 6 日 (金)	帯広小学校	16 名
10 月 10 日 (火)	東小学校	27 名
10 月 11 日 (水)	大空中学校	10 名
10 月 12 日 (木)	帯広小学校	6 名
10 月 16 日 (月)	西小学校	17 名
10 月 17 日 (火)	東小学校	35 名
10 月 18 日 (水)	清川小学校	5 名
10 月 19 日 (木)	八千代中学校	25 名
10 月 20 日 (金)	愛国小学校	21 名
10 月 21 日 (土)	図書館	8 名
10 月 23 日 (月)	大空中学校	18 名
11 月 7 日 (火)~30 日 (木)	市ホームページ	5 件

2 計画案に関する意見交換会の開催状況

開催日等	会場	参加者数
平成 30 年 2 月 23 日 (金)	大空中学校	25 名
3 月 13 日 (火)	大空会館	16 名
4 月 15 日 (日)	大空中学校	82 名
4 月 21 日 (土)	大空小学校	129 名

3 計画原案に関する意見交換会等で出された主な意見

1 学校の様子について

- 小規模校であるため先生の指導が行き届き、全体的に学力のレベルが高く、学習面での心配はしていない。
- 小規模校だと、年下を大切にしたり年上を敬う気持ちが育まれるので、上級生が下級生の面倒を見ている。今後、進学により集団生活の中に入ったとしても心配はしていない。
- 小規模校だと、子どものことを学校に話すと担任から連絡がくるなど、保護者と先生の距離感が近いと感じる。
- 小規模校だと、不登校の児童に対して、何とか学校に来てもらいたいという先生方の手厚い指導がなされていると感じる。
- 児童数が少ないこともあり、特別支援の児童に手厚い指導がなされていると感じる。

2 学校規模によるメリット・デメリットについて

- 小規模校では、運動会でひとつのクラスを紅白に分けるなどしていることを考えると、複数学級あった方がよい。
- 小規模校だとクラス替がなく友人関係が密になり、一定の規模校だとクラス替があるので幅広い友人関係を構築することができる。
- 大規模校では、指導にバリエーションを持たせることができると思う。
- 小規模校であろうと大規模校であろうと子どもは順応していくものなので、程良い規模で偏りのない指導が行われれば問題ないと思う。
- 中学校で大規模な学校を経験するのに、小学校でも一定の学校規模が必要なのか。
- 人間として成長でき、適度に学力を向上させることができるのであれば、児童生徒数の多少はあまり関係ないのではないか。地域特性に合った進め方をして欲しい。
- 色々な経験を持つ子どもが集まることで、違った角度から物事を見られるなど様々な意見交換をすることができる。
- 小規模校では、一人ひとりが必ず発表する機会があることや、児童同士の個性を認め合えたり、自然とお互いを尊重したりすることができる。先生も児童の個性を理解して接してくれる。埋もれる子が少ないことや、色々な経験をする機会が多いことで子どもたちが成長していると思う。
- 成長期にある子どもには、もっと規模の大きい中学校で経験して欲しいという思いはある。
- 複式学級となることには若干抵抗があり、不安を覚える。高校受験で学力の差を感じてしまうのではないかと考えている。
- 小学校において深い人間関係を築き、中学校で幅広い人間関係をつくれれば、今の子どもたちの関係性の希薄化の解消にもつながるのではないかと考えている。
- 小規模校では、周囲の学校との交流の場をもっと設けてはどうか。
- 部活動の選択肢が少ないのは大きな問題で、小学校から中学校に進学するときに希望の部活動の

種類がなく諦める生徒もいる。

- 小規模校には、人間関係がうまくいかない場合、クラス替えができないデメリットはあると思う。クラス替えがあることで友達関係が変わり、新たな出会いや世界が広がると感じている。
- 高校で人数が多くショックを受けたが、義務教育のときには問題がない。
- 複式学級の授業は、より細かく先生が見てくれることで学習意欲もわき、理解も進む。
- 複式学級は、子どもたちが自分たちで何をすべきか、何を学習すべきか、考える機会になっており、子どもたちを成長させる教育になっている。デメリットと考えるのは違うと感じている。
- 自分の子どもは、「学校は社会性も学ぶところだから学校規模は多いほうが良い。」と言っていた。子どもたちのことを考えて、意見を良く聴いて適正規模の確保等の取り組みを進めて欲しい。
- 児童全員の顔を認識し、学年を問わず良好な人間関係を築くことができる現在の学校規模（200～250人）が適正だと考える。
- 学校生活の中で基本的な生活習慣が身につくのであれば、小規模であろうと問題ない。

3 適正規模確保等の取り組みについて

- 中学生になると、ある程度身体も強くなり、通学の負担にも耐えられると思うので、子どもの世界が広がるなら統合することもありなのではないか。
- 学校の統廃合を進める場合、地域の理解を得るための時間が必要になる。
- 適正規模の確保等に関する計画の策定後も、市民の意見を聴取してほしい。
- 統合して他の学校に通う場合、朝早く家を出て夜遅く帰ってくることにに対する不安が大きい。
- 今いる先生に対し何の不满もなく、子どもたちも大きな学校に行きたいとは思っていないと思う。
- 町内会と校区が違うところがあることや、学校間での児童生徒数の差が大きいので、校区の見直しを考えられないのか。
- 小学校について、将来的には1学年1学級になっていくことを考えなければならない。
- 義務教育の間に帯広に愛着を持つ教育を行ってもらいたい。地域、保護者、教育委員会と一緒に、帯広に戻ってくる教育を目指したい。
- 小中一貫校として新しい学校をつくれば、また人が集まってくる地域だと思う。建物が古くなると学校の魅力が低下して子どもが通いたくなくなる。
- 一定の集団の中で学んで欲しい。小中一貫が良いと思う。老朽化対策も合わせて実施して欲しい。
- 児童数が少ないため、学校でできることが限られており、教員の負担も大きいと思う。
- 将来推計から危機感を感じるが、どうしたら良いか分からない。
- 適正規模の確保の前に、児童にきちんとした教育を受けさせるため教員の配置や教員の質を高めるべきである。
- 学校を残すため、山村留学、自然体験制度などにより全国から子どもを集めてはどうか。先生の配置人数が減らないように道教委に働きかけをして欲しい。
- 将来を見据えたとき、学校のことを考える時期に来ていると思う。子どもの教育をどうしていくか大切。そのため腹を割って話す機会をつくるべき。

- 小規模特認校制度は大きなメリットがある。通いたいという子どもたちはまだいると思うので、もっと手を差し伸べてほしい。市街地校に馴染めない子どもの受け皿、セーフティネットとして残すべき。
- 帯広小と北栄小、花園小と明星小のように異常と思えるほど近距離に複数の学校を設置するような元々の通学区域に疑問を持つ。
- 統合する場合、廃止する学校の校歌や校章などを統合後の学校に通う児童生徒に引き継ぐ仕組みを構築してほしい。
- 都市部の小中学校の通学区域を再編すべきではないか。

4 学校と地域の関わりについて

- 保護者が子どもに役立つ情報を教える家庭教育も大事だと思うが、共働きの世帯が多く、時間が限られている。子どもの育ちに地域が協力すれば、地域の教育レベルが向上し、地域の魅力にもつながると思う。
- この地域は、祭り、近所付き合い、見守り活動、子ども110番の家など学校や子どもたちと地域のつながりが強いと感じている。
- 農村地域は学校が地域の要になっているので、学校が無くなると地域の結びつきが希薄になる心配がある。
- 近年、通いの農家が増えているが、地域に学校がなければわざわざそこに住む必要はない。
- 運動会などの行事を地域ぐるみでつくり上げ、盛り上げることなど、幼少期に身につけたものは将来役立つもの。子どもは学校、近所、年上・年下の人など地域の中で育つ。
- この地域の住民は、学校運営に携わる意識を持っており、その姿を子どもたちが見ているので、社会人になって地域に戻ったときに、同じような使命感を持ってくれる。
- 学校の歴史は何物にも変えがたい。同窓生や地域の人の思いが沢山詰まっている。そうした歴史のある学校を廃校すべきでない。
- 地域全体で、反対の意思表示をしなければと思っている。人間形成のうえで義務教育が大事だと思う。この地域での学校の役割は大きい。
- 教職員は、地域住民との交流により資質向上が図られている。

5 その他

- まだ保護者の関心度が低いので、こまめな情報発信が必要と感じる。
- 子どもにとって何が大事なのかを第一に考えて欲しい。
- 将来の話だけでなく、現在通っている子どもへの手立てを考えることも必要ではないか。
- 少人数学級を実現すべき。
- 教育行政だけではなくて、都市計画から変えて人口の分布を考えていく必要があると思う。学校を含めての地域のまちづくりを考えるべき。
- 意見交換の場に参加できない人や、この雰囲気では意見を述べられない人もいる。そういった人の声を聴くような機会を設けてほしい。

- 地域住民、保護者と十二分に協議をして進めて欲しい。意見交換を行って地域の理解が得られたと思って淡々と進めないで欲しい。
- 定員を定めて、学校選択制を考えてはどうか。
- 自分が子どもの頃、統合に反対の人もいたが、親や地域の人から、「部活動や高校受験があるから、これからは大勢の中でもまれて生きていくべき。」と言われた。当時の親や地域のリーダーはすごい判断をしたと思う。
- 跡施設は、地域のために何かの形で残すべき。
- 改築等に当たっては学校だけでなく、他の公共施設との複合化も考えるべき。

4 計画案に関する意見交換会で出された主な意見

1 学校施設について

- 建物が古く、体育館も寒い。学習環境として過酷である。建て替えて小中一貫校として新たにスタートを切るのがよいと考える。
- 学童や福祉センターの機能も一緒になれば、幅広い世代の方に見守ってもらえて、子どもにとって良い環境になると考える。
- 施設の長寿命化に関して、大空地区の場合、学校も他の公共施設も老朽化しているため、大規模改修を行うことも考えるべきである。
- 学校や大空会館は、建設から相当の年数が経過している。新たに3つ建てるより、まとめて1つ建てた方が効率的であり、地域住民としても、学校と地域の人が活用できる児童保育センターや福祉施設が併設されていれば子どもとの接点にもなり、地域コミュニティの拠点になるのではないかと思う。
- これからこの地域の将来も考えて検討していくのであれば、子どもとの関わりを親が作りやすいような建物や環境をつくってほしい。

2 学校規模について

- 1学年1学級だと、合わないクラスメイトや先生とずっと一緒に過ごさなければならない。選択肢をもっと増やすことができないかと考える。
- 生徒の減少により、部活動の選択肢が少なくなることについて、南町中学校と比較すると確かに少なく、今後ますます活動しづらくなる。そういう点では、他の学校と一緒になった方がいいのかもしれない。しかし、スポーツは、本来全生徒が楽しむもので、学校教育の中で行えばよいもの。部活動として行う必要はなく、学校教育と切り離れた方がよいと考える。
- 一定の集団の中で学んでほしいという考えは、一般論としては理解できる。ただ、本当に人数が多ければよいのか考え直す必要がある。極端なことを言えば、教育は対一が理想だと思う。集団が必要であれば、他の学校と一緒に活動すればよいと考える。
- 小規模化により学級替えが出来なくてもよいのではないかと思う。大事なのは先生の目が行き届いていることである。

3 今後の適正規模確保等の取り組みについて

- 小中一貫教育を導入して、色々な先生の目が行き届くようになればよい。
- 子どもの数が減って先生の数も減る中、小中一貫校又は義務教育学校にすることで接する大人が増え、小規模校の足りない部分を補うことができる。大空小学校と大空中学校では、既に連携の取り組みを進めており、小中一貫に向けた準備はできていると思う。
- 小中一貫では、子どもの数の減少に対する直接の解決にはなり得ないと思う。例えば、南町中学校の校区を編入させることも議論してよいのではないか。子どもを色々な機会に触れさせることを考えると、学校の統合を含めて考えるべきである。

- 今後、地域検討委員会を立ち上げ、地域の意見を聴くとき、子どものことを第一に考えてほしい。
子どもは減っているが、地域のために学校を残すということにはしてほしくない。学校施設に教育以外の公的な役割を求めるのも必要だとは思いますが、子どもが置き去りになってはならない。
- 大空中学校をどうしていくかを考えるには、今小学校・中学校に在籍している児童生徒の保護者の意見が一番大事であると思う。
- 地域検討委員会を立ち上げて検討を進めていくとき、子ども達にとってどのようにすればよいかということのを第一に考えてほしい。
- 地域検討委員会における議論の内容は、保護者や地域住民に情報提供してほしい。